LIXIL

樹ら楽ステージ スロープ 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警 告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注 意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
🔑ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

⚠注 意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●設置場所を確認してください。
・本製品は一般住宅の一階相当部施工用です。それ以外の場所への取付けはしないでください。
●スロープには必ず手すりを設置してください。

🔑ポイント

●部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。
・当製品は、木粉入り高密度樹脂製のため、熱変形することがあります。取扱いには十分注意してください。
・平らな場所に立てかけないように保管してください。
・暖房機や焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
●設置場所を確認してください。
・浴室、プール等の常時水のかかる場所には設置しないでください。製品の特性上、適していません。
・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱排気による部材の変形・劣化のおそれがあります。
・母屋の屋根等から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により製品が破損するおそれがあります。
●施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に十分確認をしてください。
●人工木は表面に研磨加工処理を施してありますので、床板の施工方向によっては色調に濃淡が出ます。(樹ら楽ステージの場合)
●床板表面にはランダムな溝が入っていますので、施工方向によって色調に濃淡が出るようになります。(木彫の場合)
●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。
●市販の研磨紙を利用する際は、80番の研磨紙を用いてください。

＜施工上のご注意＞

注 意

●束柱の移動範囲は弊社指定範囲にしてください。
●製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
　φ4ネジ：1.5N・m　　φ5ネジ：3.0N・m
●基礎石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。
●コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固防止剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

ポイント

●モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具)を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●施工中についた表面すりキズは、引き渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、研磨してある方向に沿って行なってください。
●製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
●施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗いをしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。

補 足

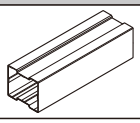
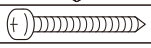
●樹ら楽ステージ 取付説明書〈E470〉または樹ら楽ステージ 木彫 取付説明書〈E423〉も併せてご確認ください。

INDEX

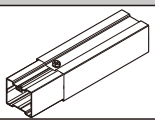
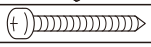
1　梱包明細表 …… 3
2　施工時の重要確認事項 …… 7
3　基本寸法と各部名称 …… 8
　1．各部名称 …… 8
　2．詳細納まり …… 9
　3．基本寸法 …… 10
4　大引・束柱の施工 …… 16
　1．基礎の施工 …… 16
　2．大引と束柱の取付け …… 17
　3．スロープスターターの取付け …… 21
5　床板の施工方法 …… 24
　1．床板取付上の確認事項 …… 24
　2．床板の取付け …… 25
　3．床板を縦切りする場合 オプション …… 28
6　幕板Bの施工方法 …… 29
　1．正面幕板B取付材(床板固定用)の取付け … 29
　2．幕板Bの加工と取付け …… 30
7　手すりの施工と補修 …… 32
　1．手すりの施工 …… 32
　2．注意シールの貼付け …… 32
　3．施工後の補修 …… 32

1　梱包明細表

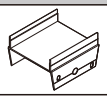
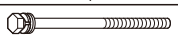
【1】束柱Aセット

名　称	略　図	員 数			
		1本入り	4本入り	6本入り	9本入り
束柱A		1	4	6	9
束柱固定金具		1	4	6	9
【1-1】φ5×35セルフタップアンカー		1	4	6	9
【1-2】φ4×13ナベドリルネジ		5	20	30	45

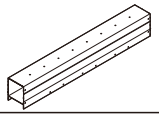
【2】束柱Bセット

名　称	略　図	員 数		
		1本入り	4本入り	6本入り
束柱B		1	4	6
束柱固定金具		1	4	6
【2-1】φ5×35セルフタップアンカー		1	4	6
【2-2】φ4×19ナベドリルネジ		9	36	54

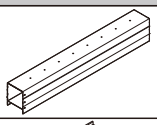
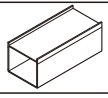
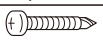
【3】スロープ角度調整材部品

名　称	略　図	員 数
角度調整材		2
【3-1】M8×90六角ボルト(SW+PW)		2
【3-2】M8バネ座金		2
【3-3】M8平座金		2
【3-4】M8六角ナット		2
【3-5】φ4×13ナベドリルネジ		16

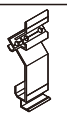
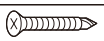
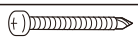
【4】大引セット

名　称	略　図	員 数	
		1本入り	2本入り
大引		1	2

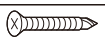
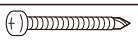
【5】大引セット(連棟用)

名　称	略　図	員 数	
		1本入り	2本入り
大引(連棟用)		1	2
大引スリーブ		1	2
【5-1】φ4×19ナベドリルネジ		9	17

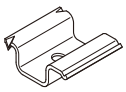
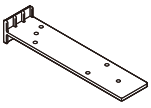
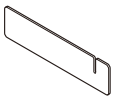
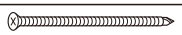
【13】幕板Bジョイントカバーセット

名　称	略　図	員 数
幕板B連結キャップ		1
正面幕板B取付材(床材固定用)		1
【13-1】φ4×14サラタッピンネジ1種		2
【13-2】φ4×25サラドリルネジ		2
【13-3】φ4×30ナベドリルネジ		2

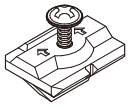
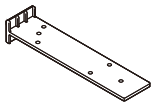
【13】幕板ジョイントカバーセット 木彫

名　称	略　図	員 数
幕板連結キャップ		1
正面幕板取付材(床材固定用)		1
【13-1】φ4×14サラタッピンネジ1種		2
【13-2】φ4×25サラドリルネジ		2
【13-3】φ4×30ナベドリルネジ		1

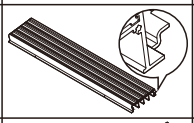
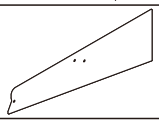
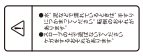
【14】床板取付部品セット(補修用)

名　称	略　図	員 数	
		横止め補修	上止め補修
横止め金具		10	5
穴開け治具		1	1
横止め金具移動治具		1	1
交換用ビット		1	1
補修用研磨紙		1	1
【14-1】φ4×65サラドリルネジ		ー	20
【14-2】φ4×13ナベタッピンネジ1種 G=4		12	7
取付説明書〈E470〉	ー	1	1

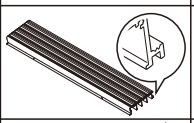
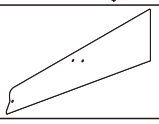
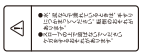
【14】床板取付部品セット(補修用) 木彫

名　称	略　図	員 数	
		横止め補修	上止め補修
横止め部品		10	5
穴開け治具		1	1
交換用ビット		1	1
補修用研磨紙		1	1
【14-1】φ4×65サラドリルネジ		ー	20
取付説明書〈E423〉	ー	1	1

【9】スロープスターター

名　称	略　図	員 数
スロープスターター A		1
スロープスターター B		1
スロープスターター側面カバー		2
束柱固定金具		2
注意シール		1
【9-1】φ4×16ナベドリルネジ		8
【9-2】φ4×20サラタッピンネジ2種		8
【9-3】φ4×13ナベドリルネジ		2
【9-4】φ5×35セルフタップアンカー		2
取付説明書〈E366〉	―	1

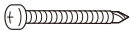
【9】スロープスターター 木彫

名　称	略　図	員 数
スロープスターター A		1
スロープスターター C		1
スロープスターター側面カバー		2
束柱固定金具		2
注意シール		1
【9-1】φ4×16ナベドリルネジ		8
【9-2】φ4×20サラタッピンネジ2種		8
【9-3】φ4×13ナベドリルネジ		2
【9-4】φ5×35セルフタップアンカー		2
取付説明書〈E366〉	―	1

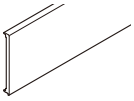
【10】正面幕板B取付材セット（床板固定用）

名　称	略　図	員 数		
		1個入り	5個入り	8個入り
正面幕板B取付材（床板固定用）		1	5	8
【10-1】φ4×25サラドリルネジ		4	12	18
【10-2】φ4×30ナベドリルネジ		2	10	16

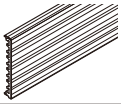
【10】正面幕板取付材セット（床板固定用） 木彫

名　称	略　図	員 数		
		2個入り	8個入り	11個入り
正面幕板取付材（床板固定用）		2	8	11
【10-1】φ4×25サラドリルネジ		6	18	24
【10-2】φ4×30ナベドリルネジ		2	8	11

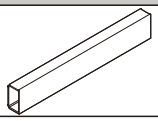
【11】幕板Bセット

名　称	略　図	員 数	
		1本入り	2本入り
幕板B		1	2

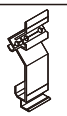
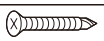
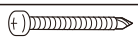
【11】幕板セット 木彫

名　称	略　図	員 数	
		1本入り	2本入り
幕板		1	2

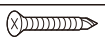
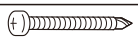
【12】床板縦切り用インナー材　**オプション**

名　称	略　図	員 数
床板縦切りインナー材		1
【12-1】φ4×16サラドリルネジ		4

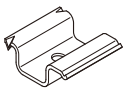
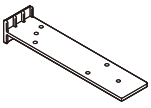
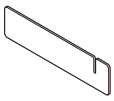
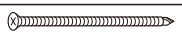
【13】幕板Bジョイントカバーセット

名　称	略　図	員 数
幕板B連結キャップ		1
正面幕板B取付材(床材固定用)		1
【13-1】φ4×14サラタッピンネジ1種		2
【13-2】φ4×25サラドリルネジ		2
【13-3】φ4×30ナベドリルネジ		2

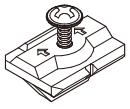
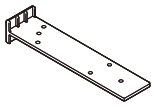
【13】幕板ジョイントカバーセット 木彫

名　称	略　図	員 数
幕板連結キャップ		1
正面幕板取付材(床材固定用)		1
【13-1】φ4×14サラタッピンネジ1種		2
【13-2】φ4×25サラドリルネジ		2
【13-3】φ4×30ナベドリルネジ		1

【14】床板取付部品セット(補修用)

名　称	略　図	員 数	
		横止め補修	上止め補修
横止め金具		10	5
穴開け治具		1	1
横止め金具移動治具		1	1
交換用ビット		1	1
補修用研磨紙		1	1
【14-1】φ4×65サラドリルネジ		―	20
【14-2】φ4×13ナベタッピンネジ1種 G=4		12	7
取付説明書〈E470〉	―	1	1

【14】床板取付部品セット(補修用) 木彫

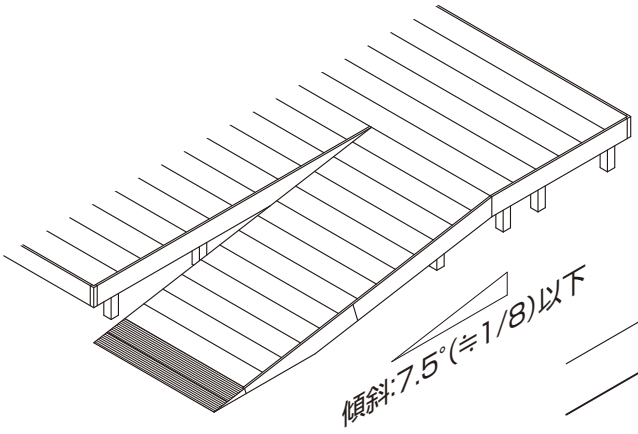
名　称	略　図	員 数	
		横止め補修	上止め補修
横止め部品		10	5
穴開け治具		1	1
交換用ビット		1	1
補修用研磨紙		1	1
【14-1】φ4×65サラドリルネジ		―	20
取付説明書〈E423〉	―	1	1

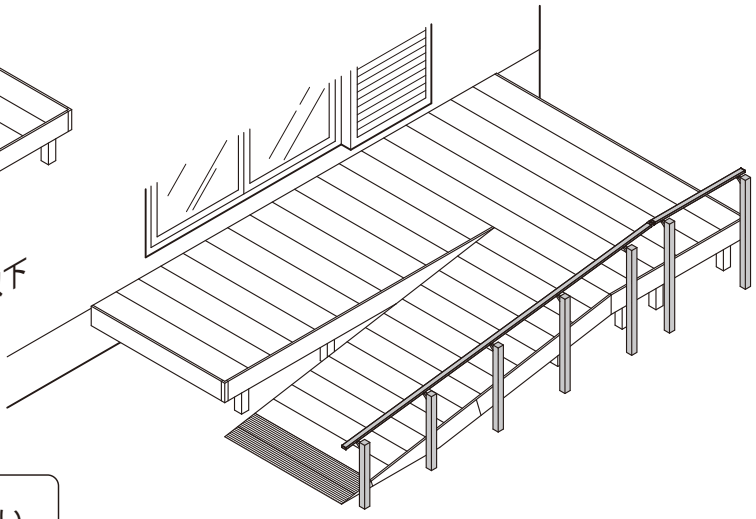
2　施工時の重要確認事項

※図は樹ら楽ステージを示します。
　樹ら楽ステージ 木彫も同様の施工となります。

ポイント

●スロープを設置する場合は、以下の条件を満たしてください。



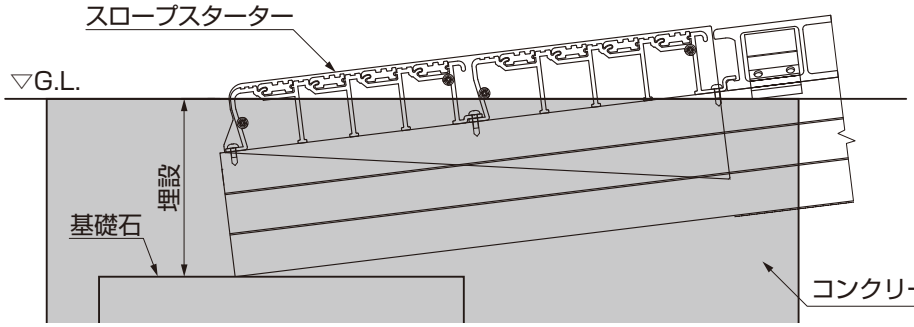


注 意

●スロープには必ず手すりを設置してください。

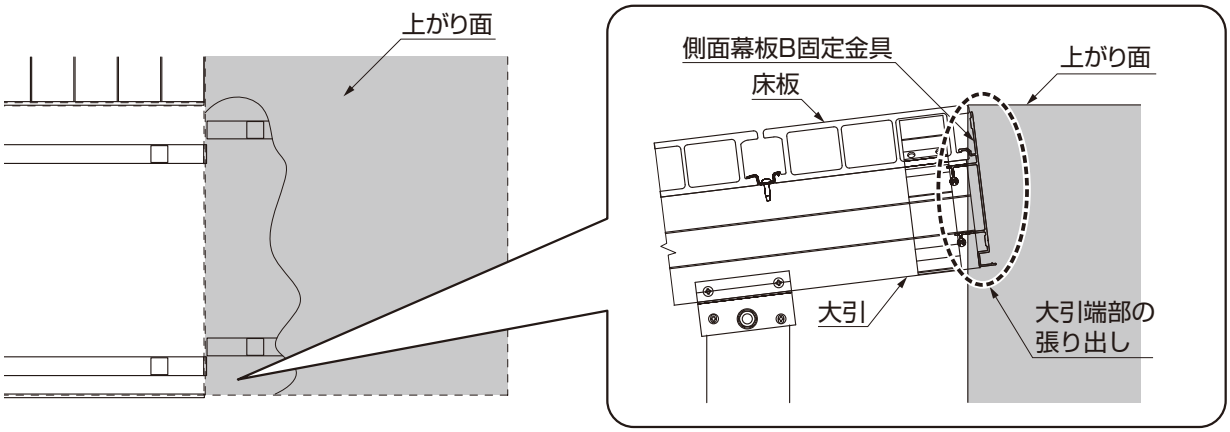
ポイント

●7.5°(≒1/8)以下の傾斜を施工できる場所があることを確認してください。
●スロープと手すりを施工できる幅を確保してください。



ポイント

●スロープスターターをコンクリートで埋設できることを確認してください。
●スロープスターターの下はコンクリートで仕上げてください。



ポイント

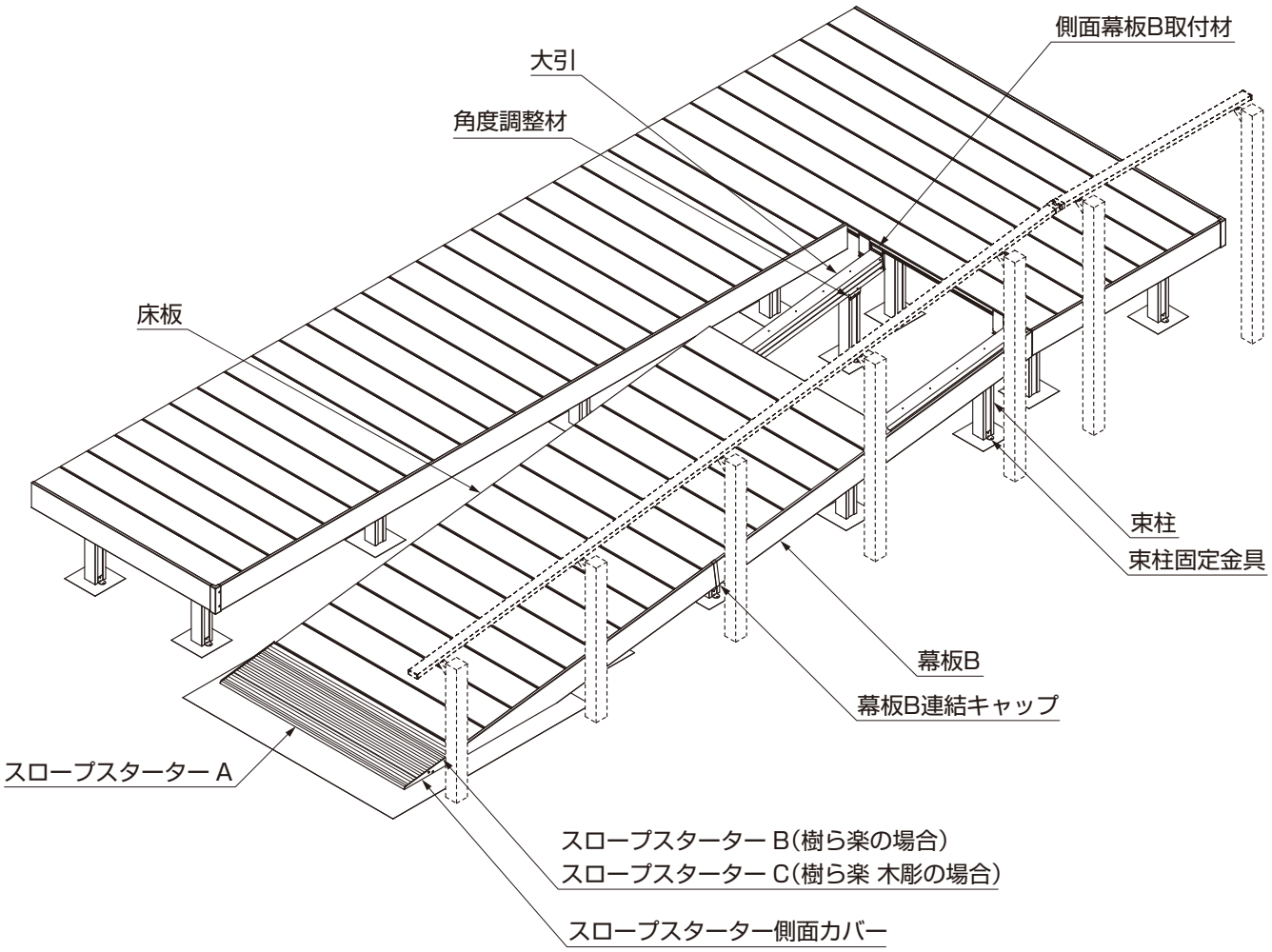
●上がり面を確保してください。
●上がり面がデッキ以外の場合、大引端部の張り出しを吸収できることを確認してください。

①スロープ取付け位置、傾斜方向を確認してください。

3　基本寸法と各部名称

※図は樹ら楽ステージを示します。
　樹ら楽ステージ 木彫も同様の納まりとなります。

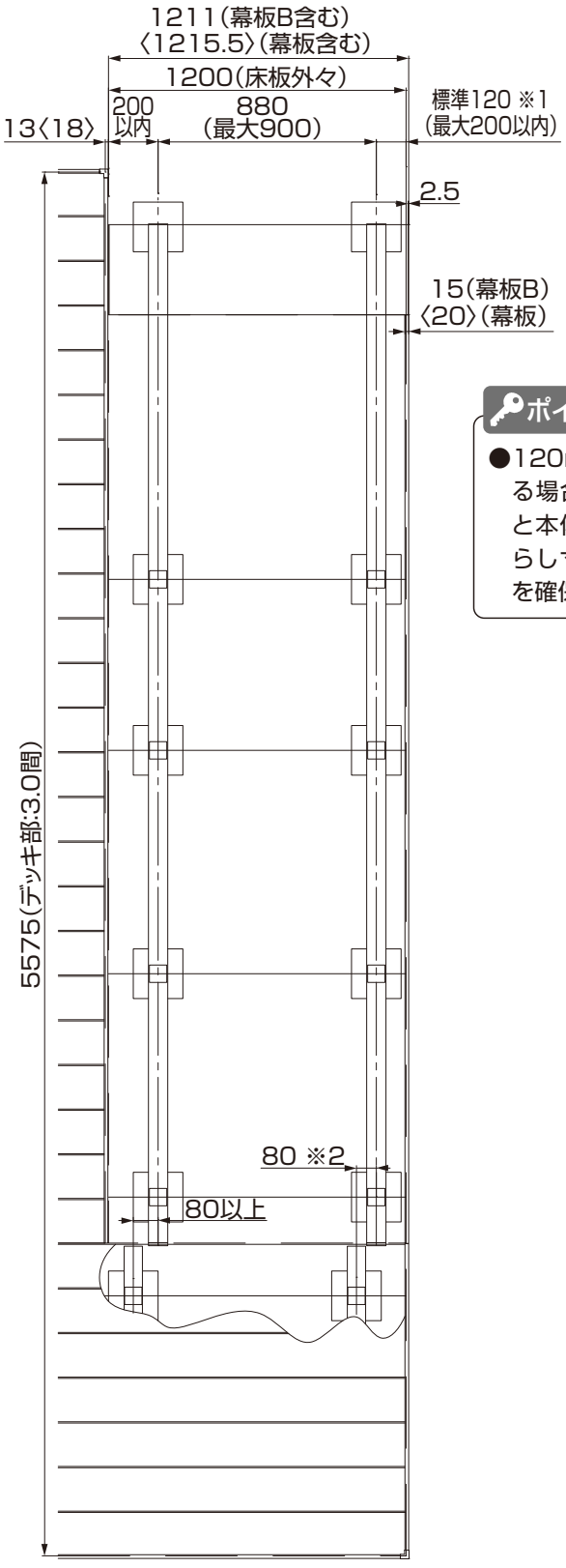
1. 各部名称



2. 詳細納まり

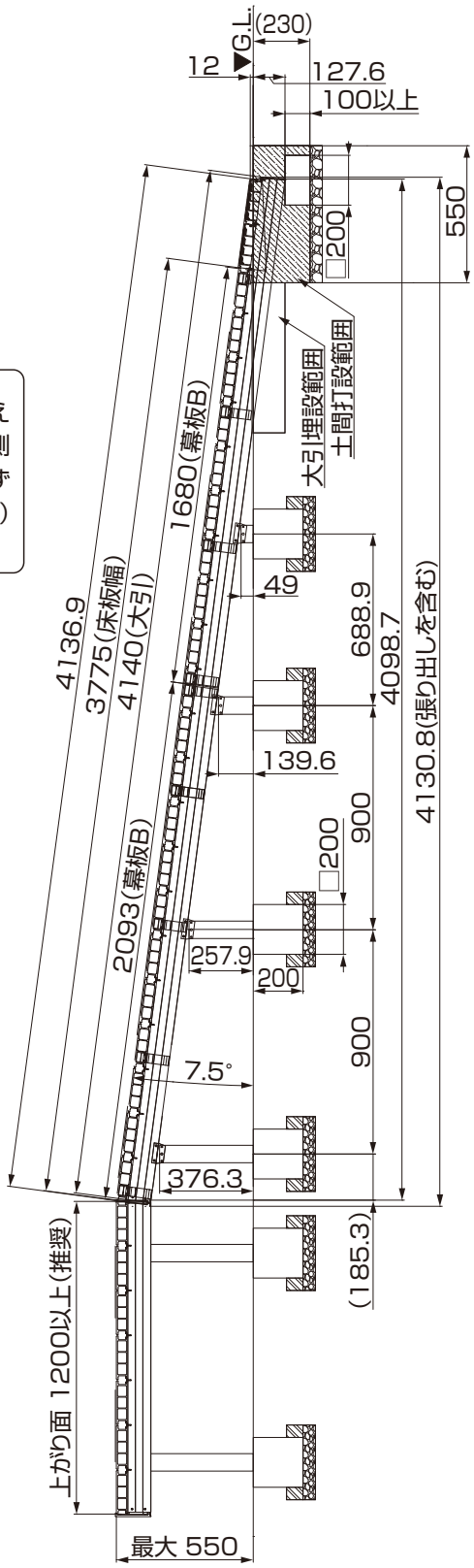
2-1 スロープ詳細納まり

※図は7.5°（1/8）床板21枚+スターターの場合を示します。
※〈　〉内寸法は木彫を示します。



ポイント

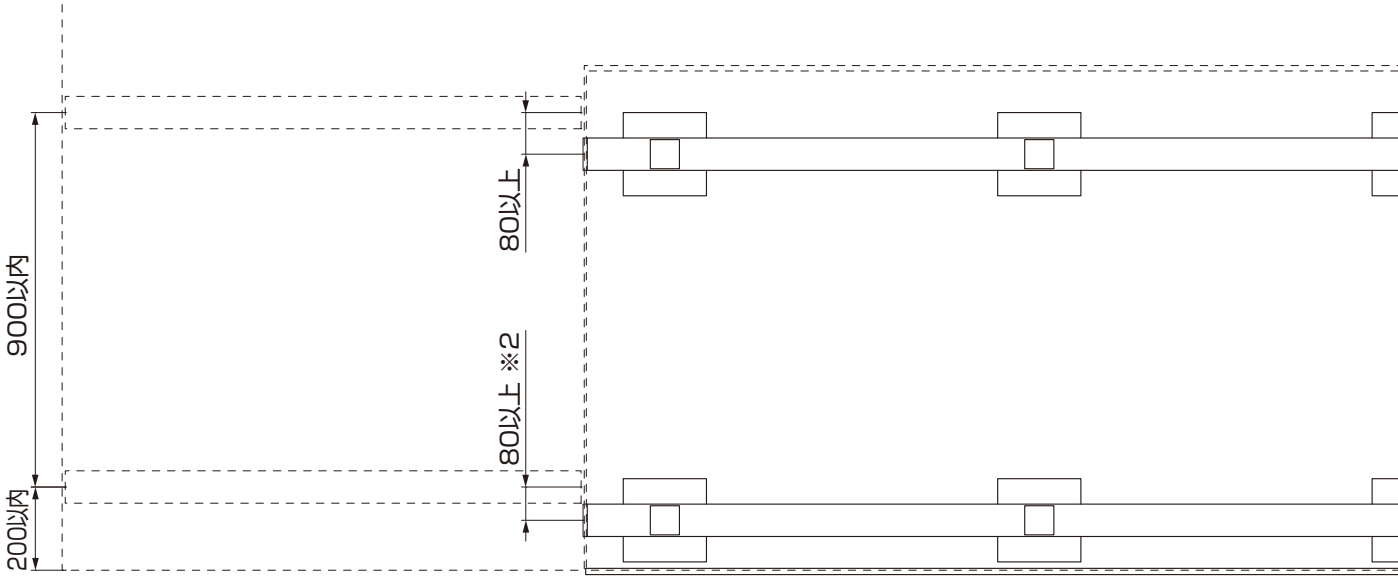
●120mm（※1）を越える場合は、スロープ側と本体側の大引とのずらし寸法80mm（※2）を確保してください。

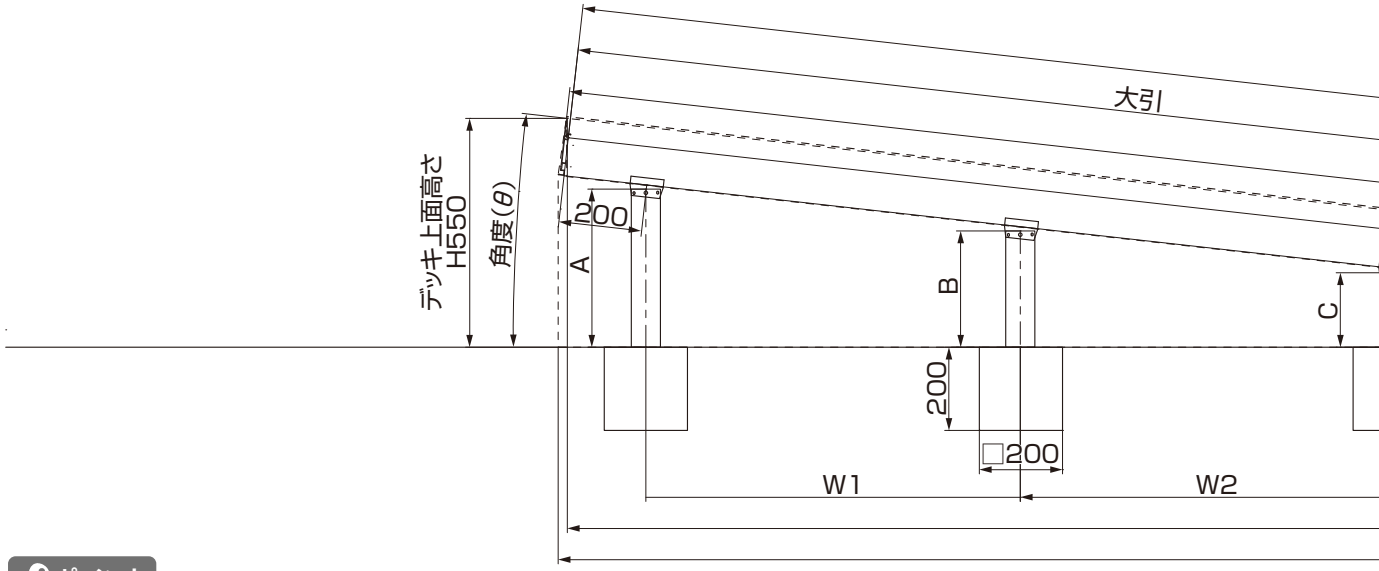


E366_202010D

3. 基本寸法

3-1 基本寸法

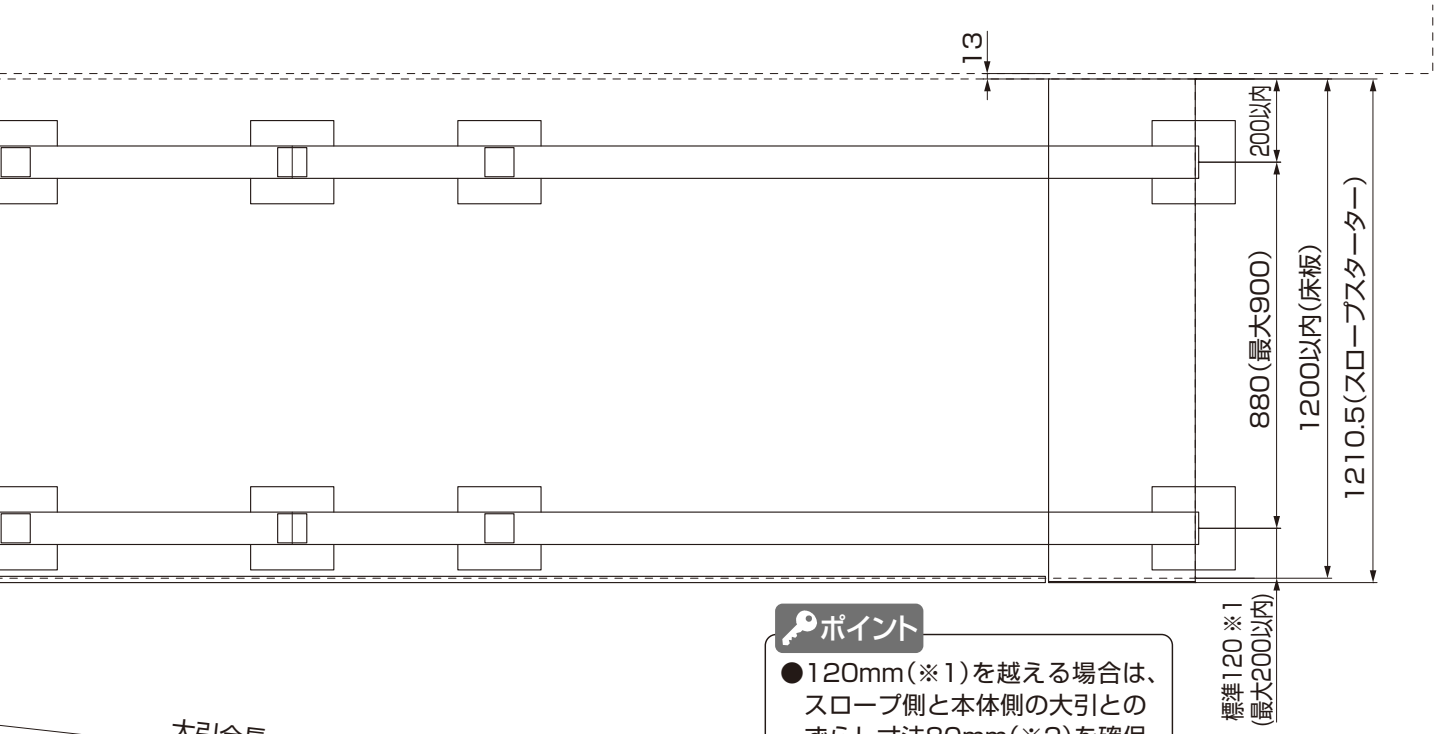




ポイント

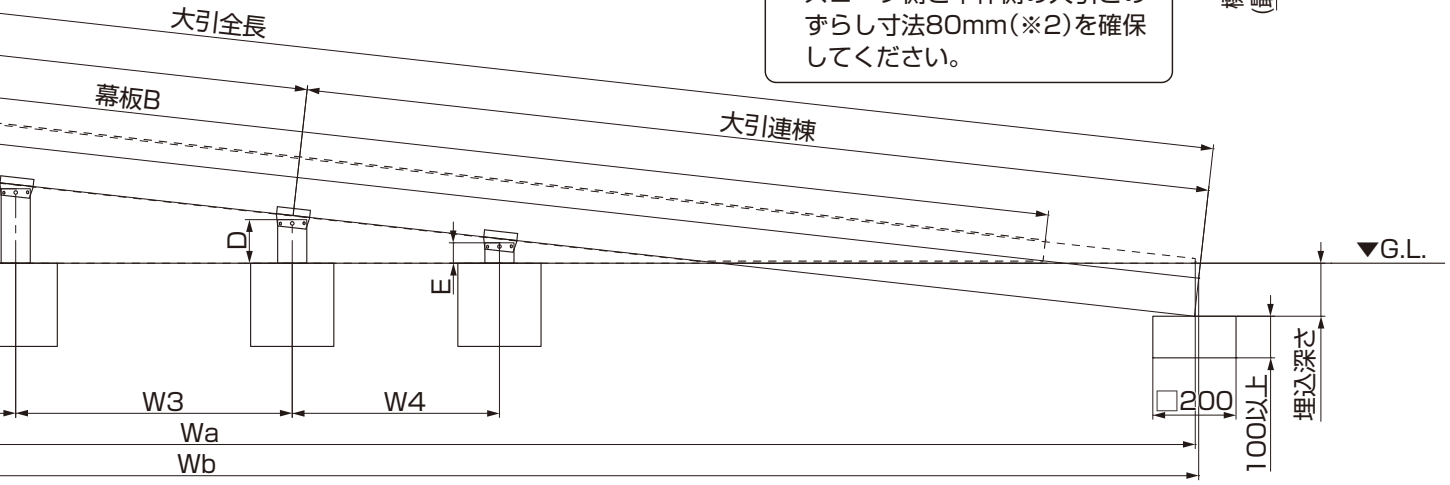
●デッキ上面高さは最大550です。
●スロープ部分の束柱ピッチは900以内にしてください。

床板枚数	角度(θ)	スロープ幅	全長 (張り出しを含む)	大引全長	使用大引	
		Wa	Wb			
21	7.5°　(1/8)	4098.7	4130.8	4140	2.5間	
22	7.2°　(1/8)	4280.2	4311.8	4320	1.5間＋1.5間（連棟用）	
23	6.9°　(1/8)	4461.6	4492.7	4500	1.5間＋1.5間（連棟用）	
24	6.6°　(1/9)	4642.9	4673.5	4680	1.5間＋1.5間（連棟用）	
25	6.4°　(1/9)	4824.1	4854.3	4860	1.5間＋1.5間（連棟用）	
26	6.1°　(1/9)	5005.2	5035.1	5040	1.5間＋1.5間（連棟用）	
27	5.9°　(1/9)	5186.3	5215.7	5220	1.5間＋1.5間（連棟用）	
28	5.7°　(1/10)	5367.1	5396.4	5400	1.5間＋2.0間（連棟用）	
29	5.5°　(1/10)	5548.1	5577.0	5580	2.0間＋1.5間（連棟用）	



ポイント

●120mm(※1)を越える場合は、スロープ側と本体側の大引とのずらし寸法80mm(※2)を確保してください。



補足

●スロープスターター側の大引端部に設置する基礎石は、厚み100mm以上にしてください。

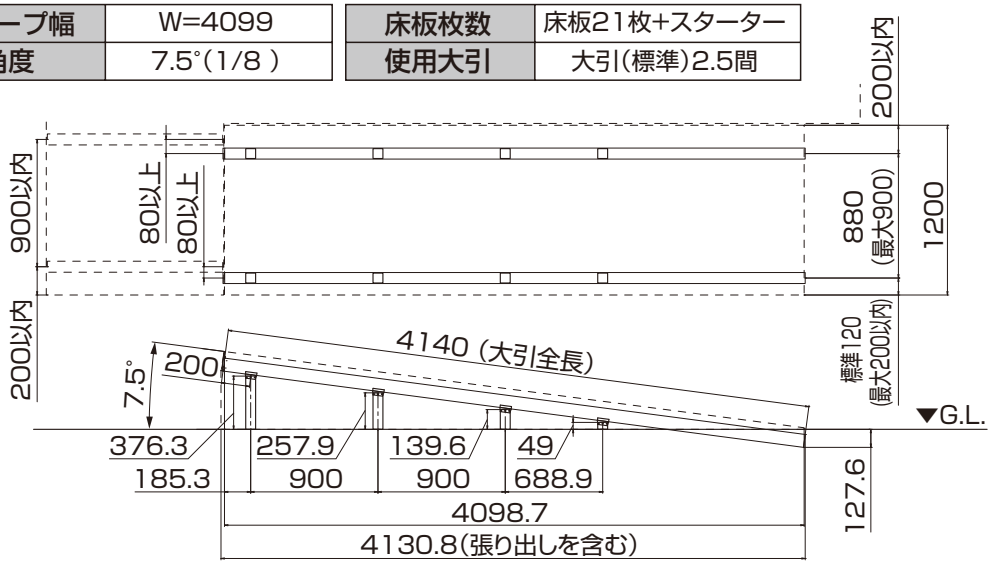
	束柱ピッチ寸法 (大引側) ⟷ (大引連棟用側)				束柱寸法					幕板B全長	埋込深さ
	W1	W2	W3	W4	A	B	C	D	E		
	900	900	688.9	—	376.3	257.9	139.6	49.0	—	3773	127.6
	900	900	660.6	—	377.3	264.0	150.7	67.5	—	3953	127.5
	900	900	662.1	—	378.3	269.5	160.8	80.9	—	4133	127.5
	900	900	663.5	—	379.1	274.7	170.2	93.2	—	4313	127.5
	900	900	664.7	498.1	379.9	279.4	178.9	104.6	49.0	4493	127.5
	900	900	665.8	615.4	380.7	283.8	186.9	115.3	49.0	4673	127.5
	900	900	666.7	732.8	381.4	287.9	194.4	125.1	49.0	4853	127.4
	900	900	667.6	850.4	382.1	291.7	201.4	134.4	49.0	5033	127.4
	900	900	900	664.2	382.7	295.3	207.9	120.5	56.0	5213	127.4

E366_201607B

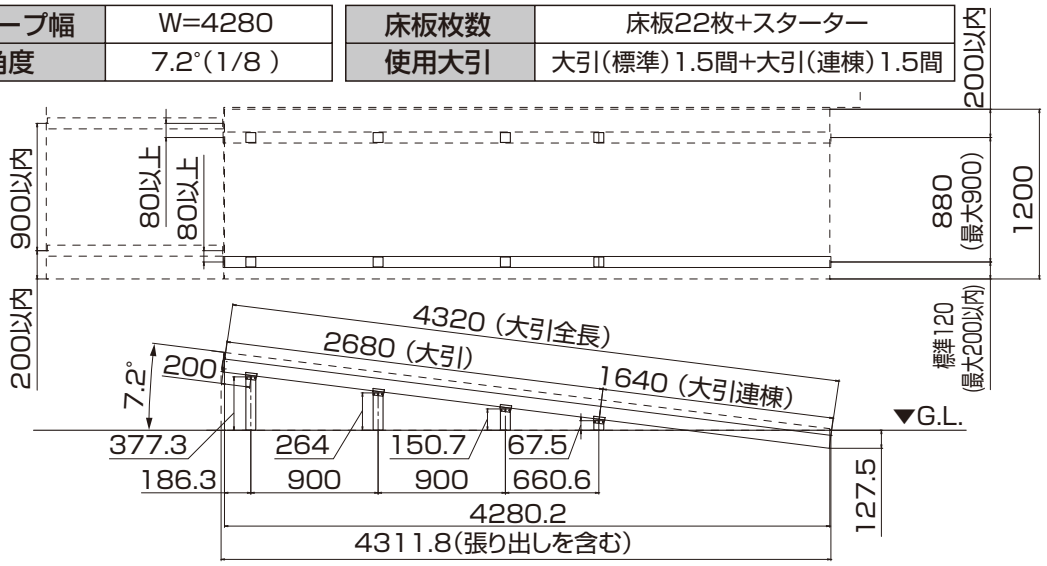
3. 基本寸法（つづき） ※デッキ上面高さH550の場合を示します。

2.5間に納める場合

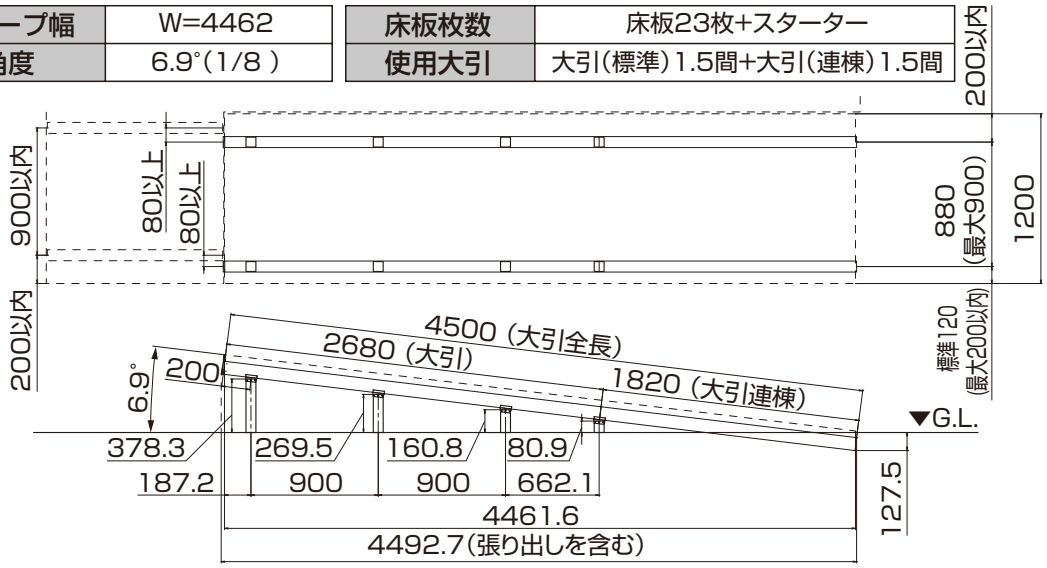
スロープ幅	W=4099	床板枚数	床板21枚+スターター
角度	7.5°(1/8)	使用大引	大引(標準)2.5間



スロープ幅	W=4280	床板枚数	床板22枚+スターター
角度	7.2°(1/8)	使用大引	大引(標準)1.5間+大引(連棟)1.5間



スロープ幅	W=4462	床板枚数	床板23枚+スターター
角度	6.9°(1/8)	使用大引	大引(標準)1.5間+大引(連棟)1.5間

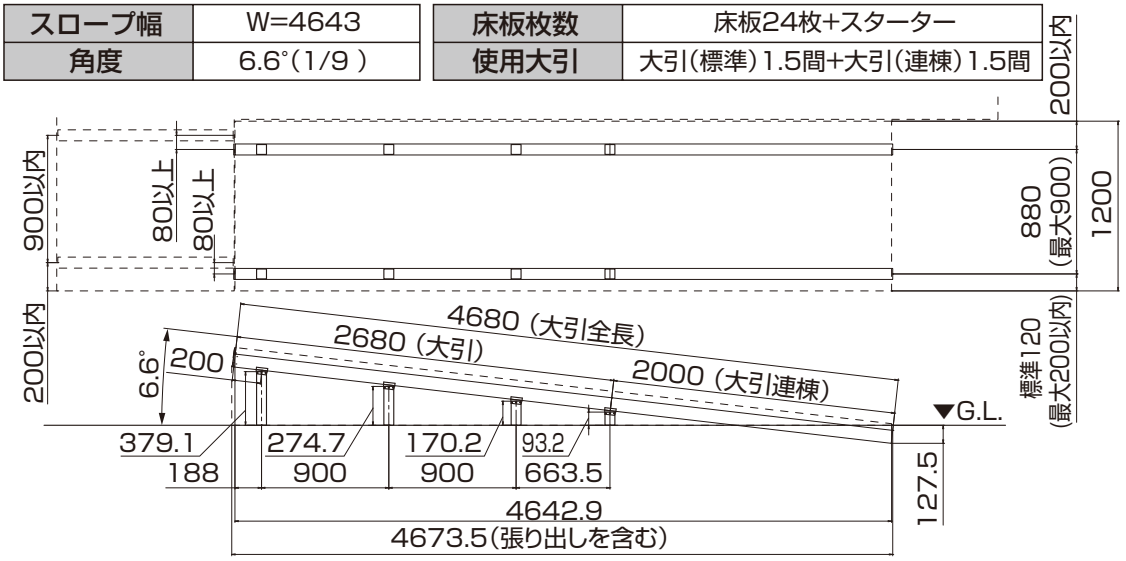


E366_201607B

3.0間に納める場合

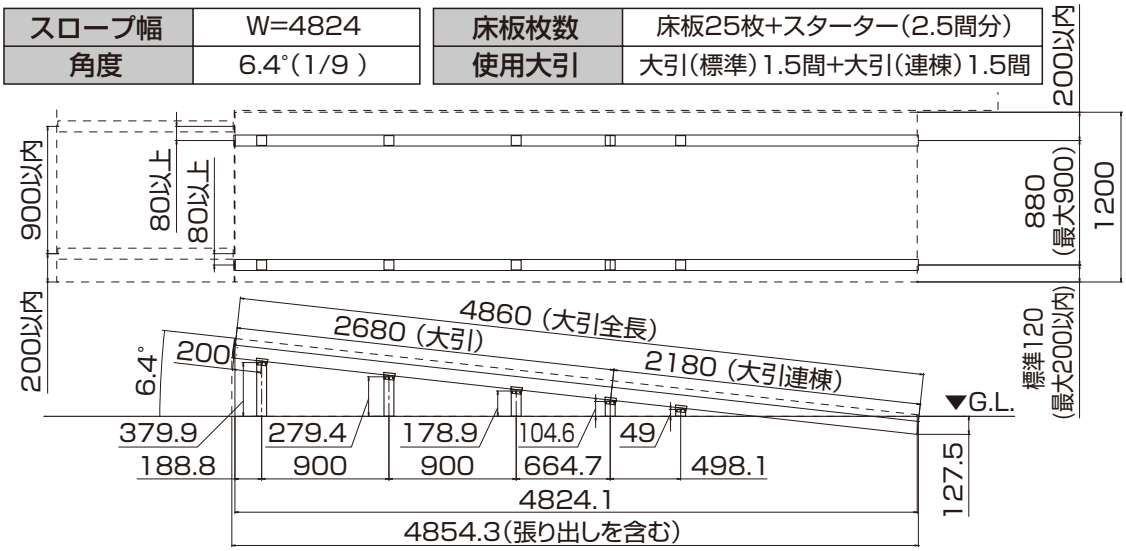
スロープ幅	W=4643
角度	6.6°(1/9)

床板枚数	床板24枚+スターター
使用大引	大引(標準)1.5間+大引(連棟)1.5間



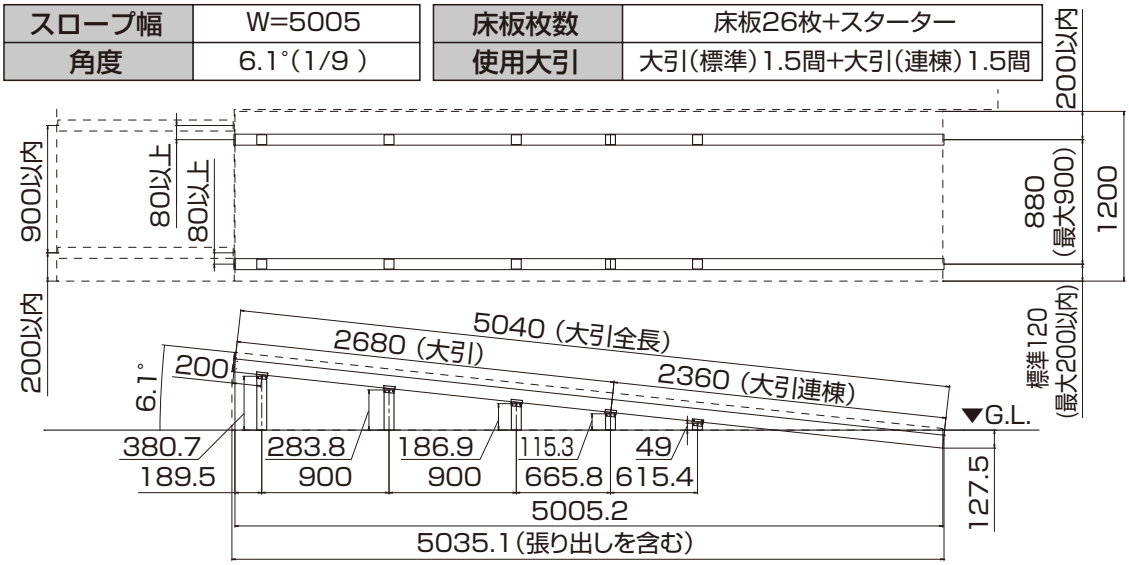
スロープ幅	W=4824
角度	6.4°(1/9)

床板枚数	床板25枚+スターター(2.5間分)
使用大引	大引(標準)1.5間+大引(連棟)1.5間



スロープ幅	W=5005
角度	6.1°(1/9)

床板枚数	床板26枚+スターター
使用大引	大引(標準)1.5間+大引(連棟)1.5間

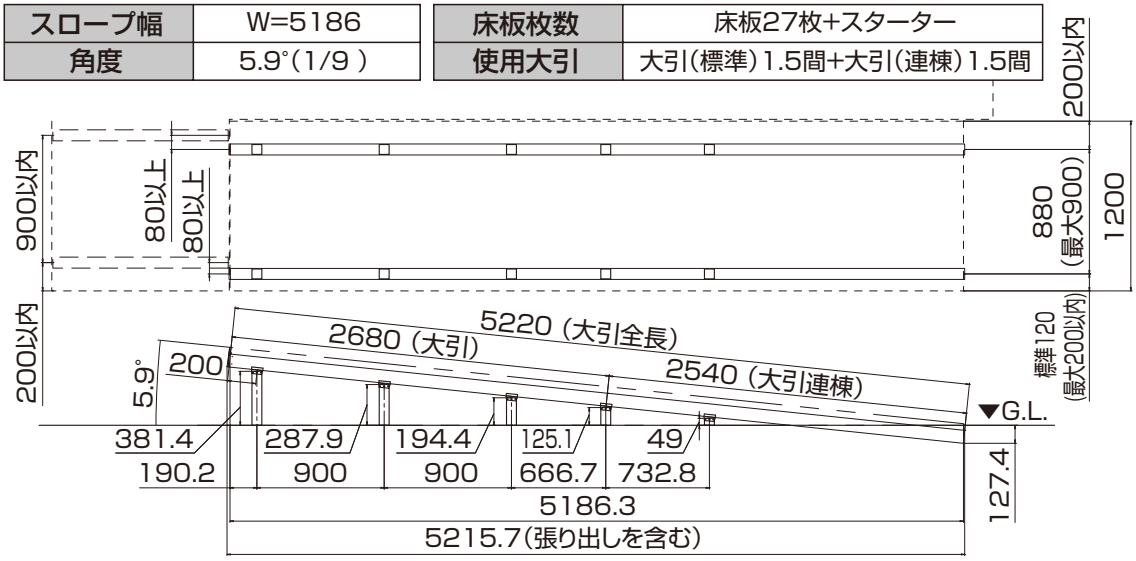


E366_201607B

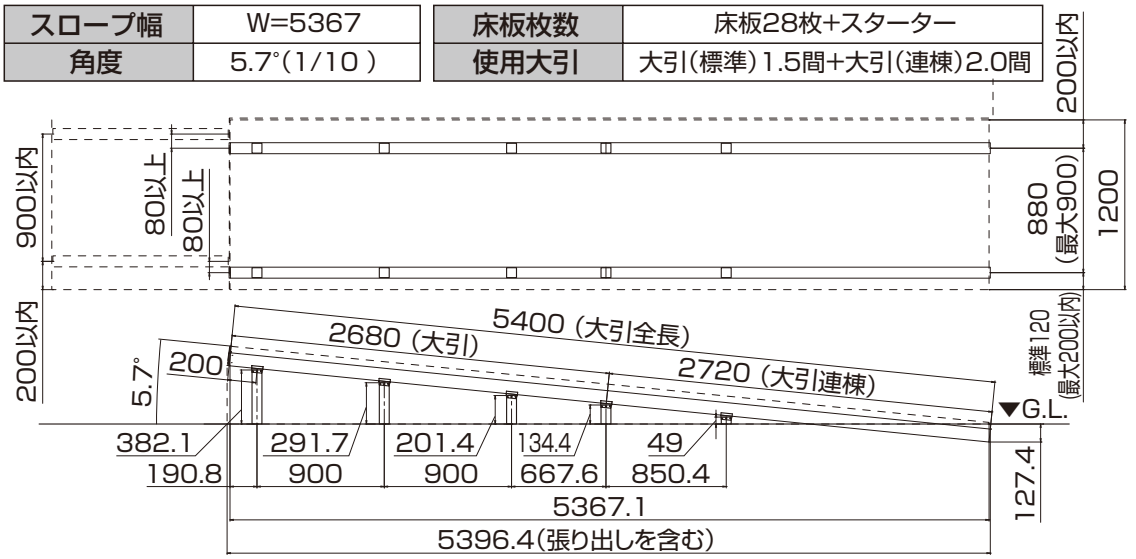
3. 基本寸法（つづき）

3.0間に納める場合

スロープ幅	W=5186	床板枚数	床板27枚+スターター
角度	5.9°(1/9)	使用大引	大引(標準)1.5間+大引(連棟)1.5間

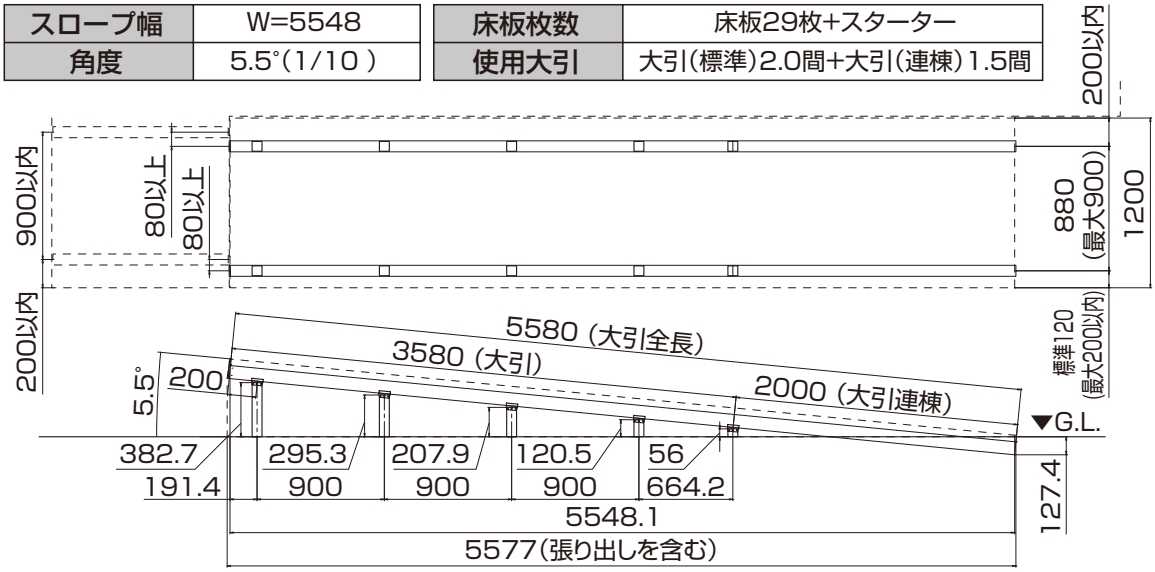


スロープ幅	W=5367	床板枚数	床板28枚+スターター
角度	5.7°(1/10)	使用大引	大引(標準)1.5間+大引(連棟)2.0間



3.5間に納める場合

スロープ幅	W=5548	床板枚数	床板29枚+スターター
角度	5.5°(1/10)	使用大引	大引(標準)2.0間+大引(連棟)1.5間

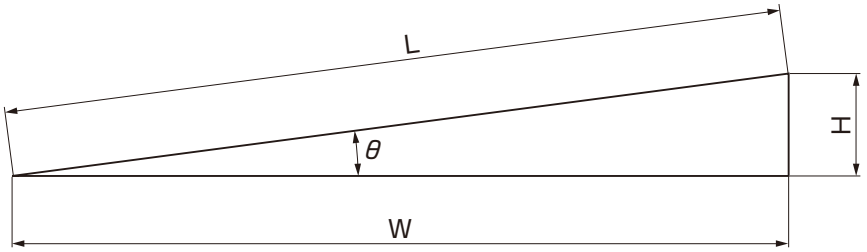


E366_201607B

3-2 計算式

ポイント

●角度(θ)は7.5°(≒1/8)以下にしてください。
●H(床高さ)は最低170mm ～最大550mmです。



①角度(θ)を出したいとき (WとHが決まっているとき)

$$\tan\theta = H \div W$$

②高さ(H)を出したいとき (Wと角度(θ)が決まっているとき)

$$H = \tan\theta \times W$$

③間口(W)を出したいとき (Hと角度(θ)が決まっているとき)

$$W = \tan\theta \div H$$

④スロープ長さ(L)を出したいとき (①②③共通)

$$L = W \div \cos\theta$$

または

$$L = H \div \sin\theta$$

表3-1

角度(θ)	tanθ	cosθ	sinθ
5.5°	0.0963	0.9954	0.0958
6°	0.1051	0.9945	0.1045
6.5°	0.1139	0.9936	0.1132
7°	0.1228	0.9925	0.1219
7.5°	0.1317	0.9914	0.1305

補足

●(例)間口を2間(3600)で角度(θ)を7.5° にした場合の高さ(H)

$$W \times \tan 7.5^\circ = H$$

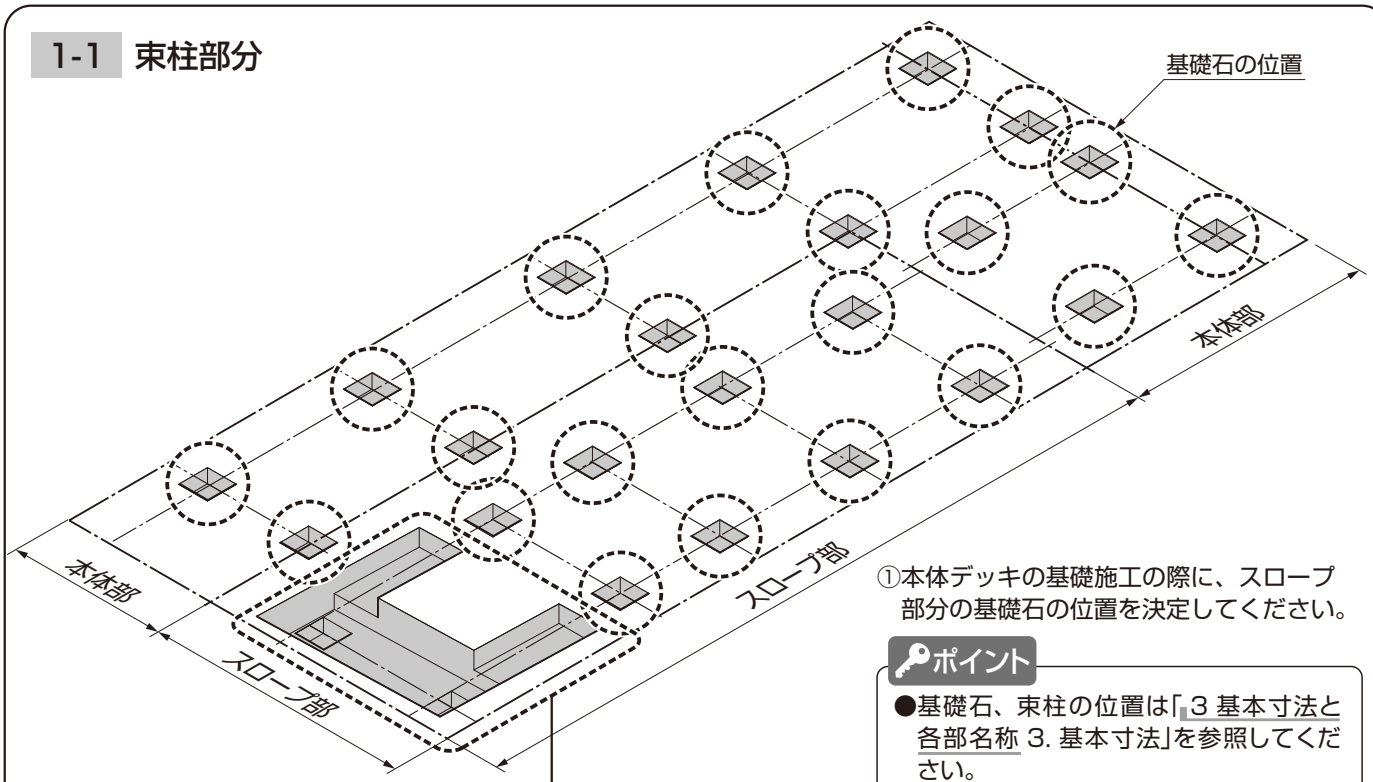
$$3600 \times 0.1317 = 474.12$$

4　大引・束柱の施工

1. 基礎の施工

※基礎石の施工については樹ら楽ステージ 取付説明書〈E470〉または
樹ら楽ステージ 木彫 取付説明書〈E423〉参照してください。

1-1　束柱部分



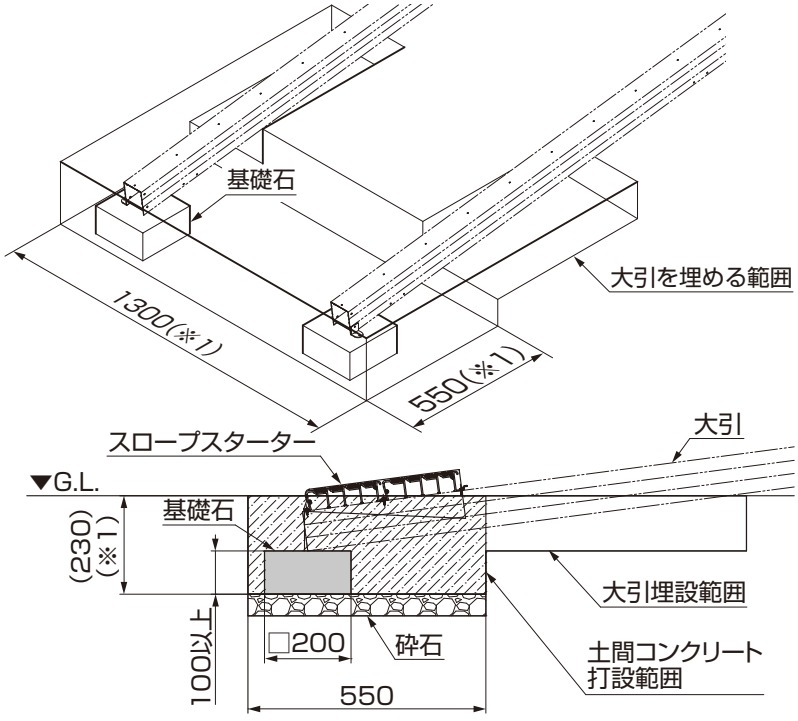
①本体デッキの基礎施工の際に、スロープ部分の基礎石の位置を決定してください。

ポイント

●基礎石、束柱の位置は「3 基本寸法と各部名称 3. 基本寸法」を参照してください。

②樹ら楽ステージ取付説明書〈E470〉または樹ら楽ステージ 木彫 取付説明書〈E423〉を参照して基礎石を施工してください。

1-2　スロープスターター部分



①大引が埋まる範囲に穴を掘ってください。
②スロープスターター部分をさらに深く掘り、砕石を敷いて突き固めてください。

ポイント

●この作業が十分でないと、基礎の浮き沈みが発生するおそれがあります。

③大引端部の設置箇所に基礎石を設置してください。

ポイント

●穴の大きさ・深さ寸法(※1)は目安です。現場に合わせて調整してください。

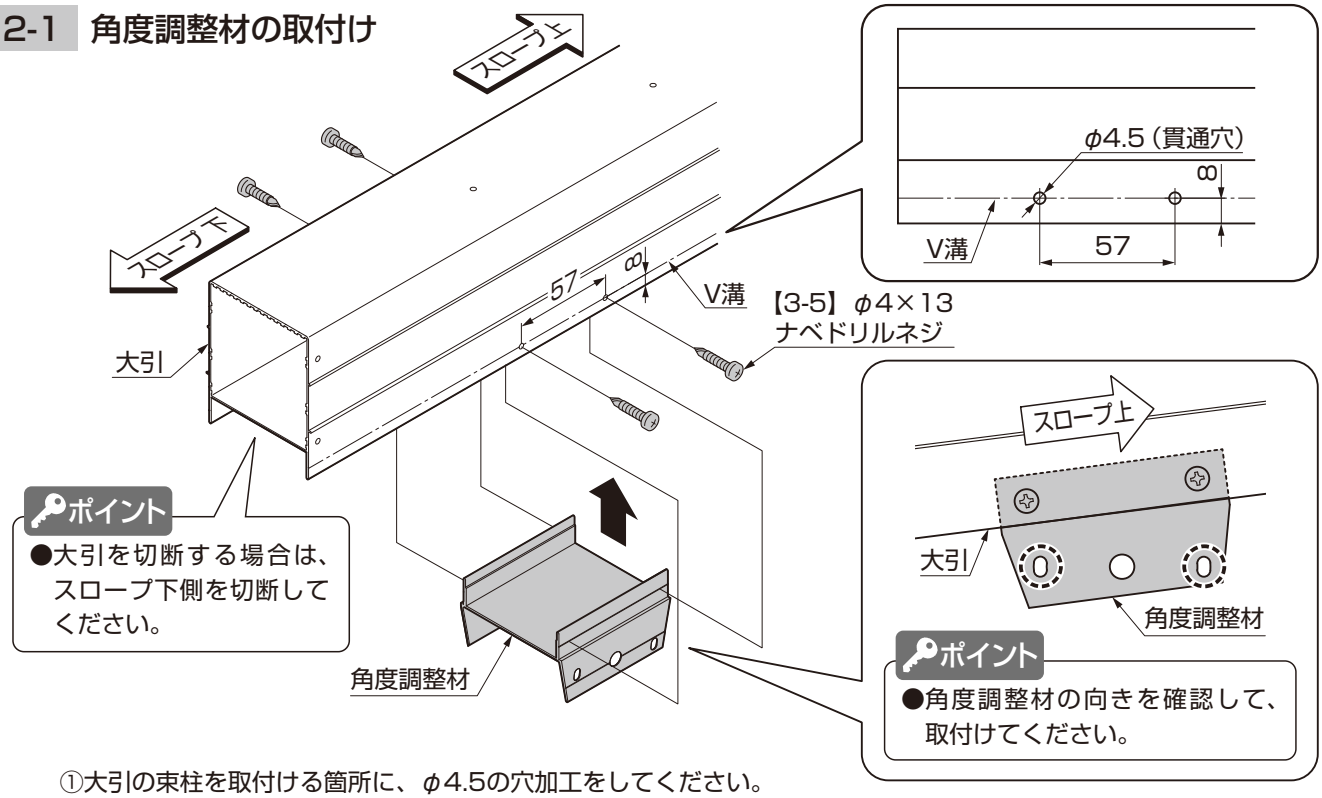
補足

●土間コンクリートは、スロープスターター取付け後に打設してください。

E366_201912C

2. 大引と束柱の取付け

2-1 角度調整材の取付け



①大引の束柱を取付ける箇所に、φ4.5の穴加工をしてください。
②角度調整材を大引に【3-5】で取付けてください。

2-2 大引の切断と連結

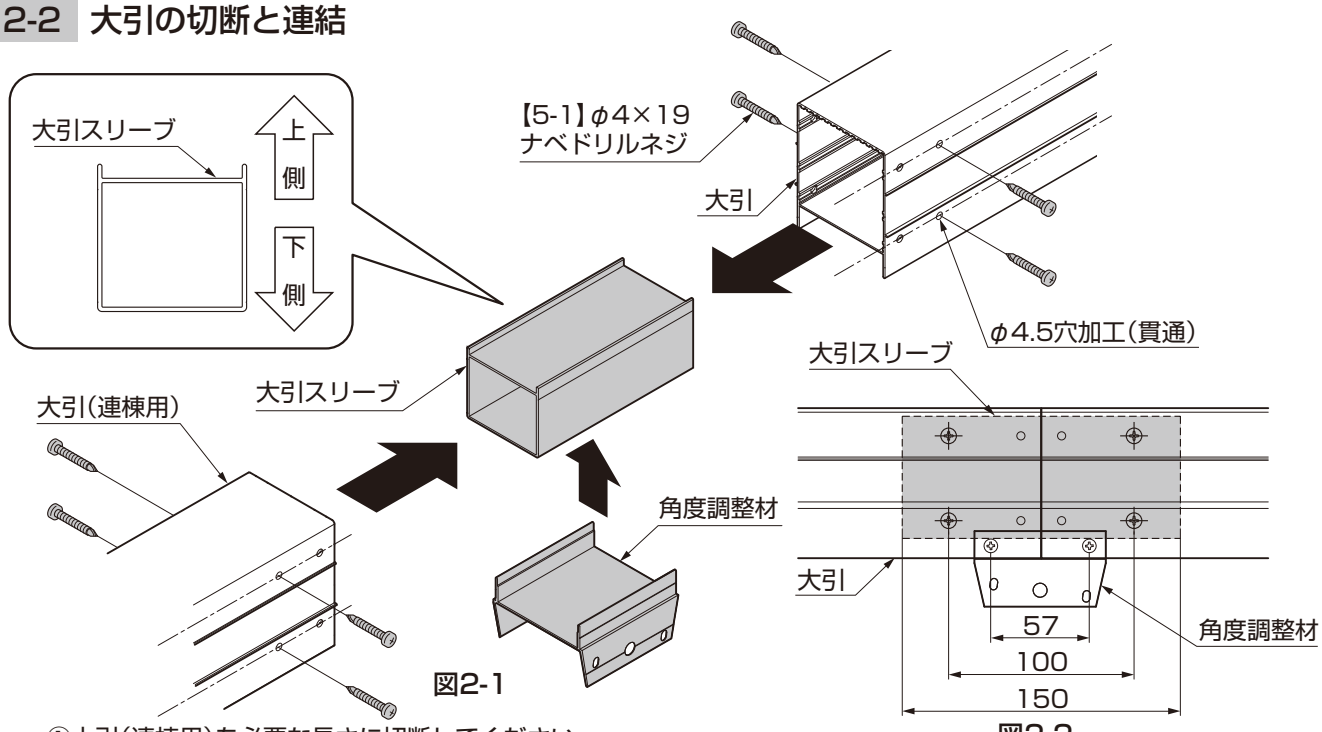


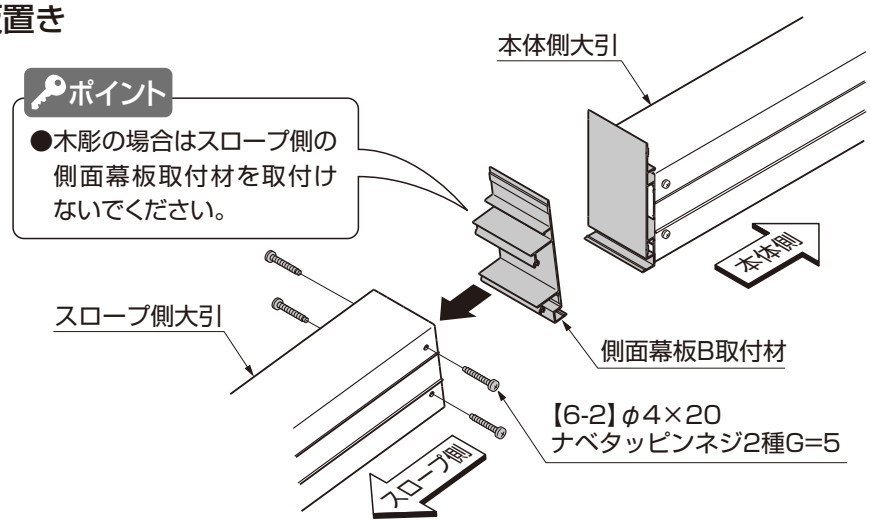
図2-1　　図2-2

①大引（連棟用）を必要な長さに切断してください。
②大引スリーブを大引に挿入して、【5-1】で固定してください。

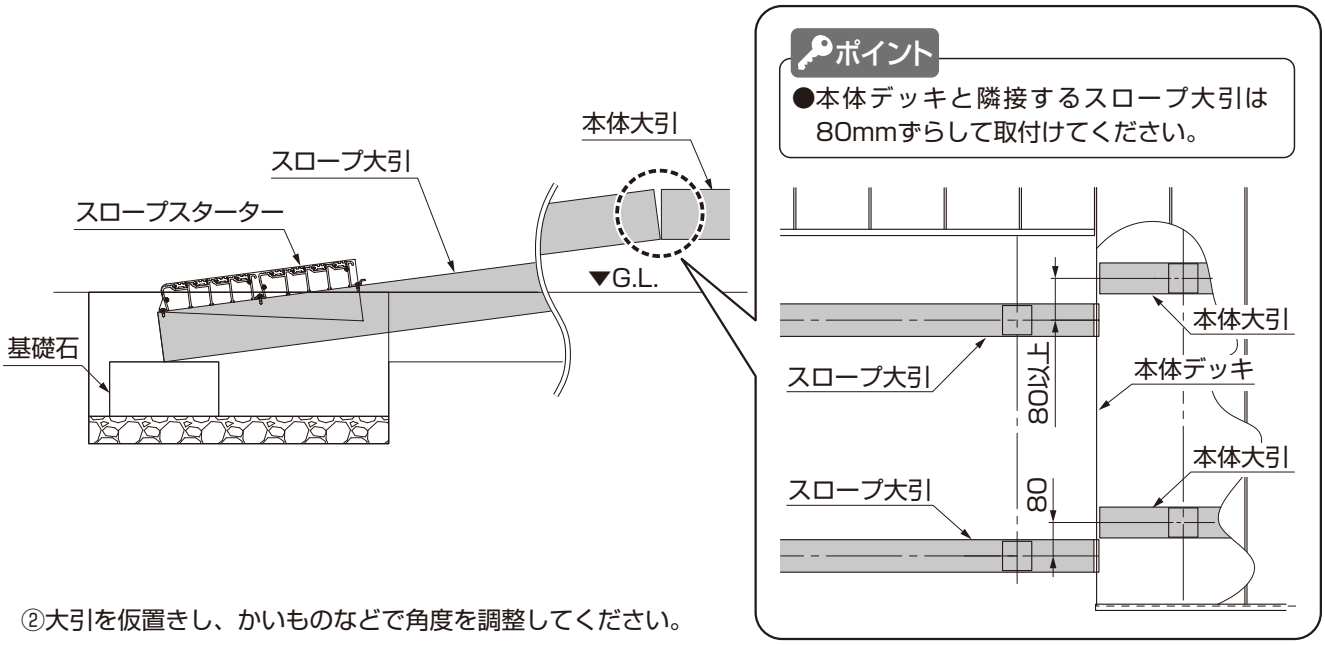
ポイント
●大引の連結部は、角度調整材の中央上部で突き合わせて固定してください。（図2-1、図2-2参照）
●大引スリーブの上下を確認してから、組付けてください。

2. 大引と束柱の取付け（つづき）

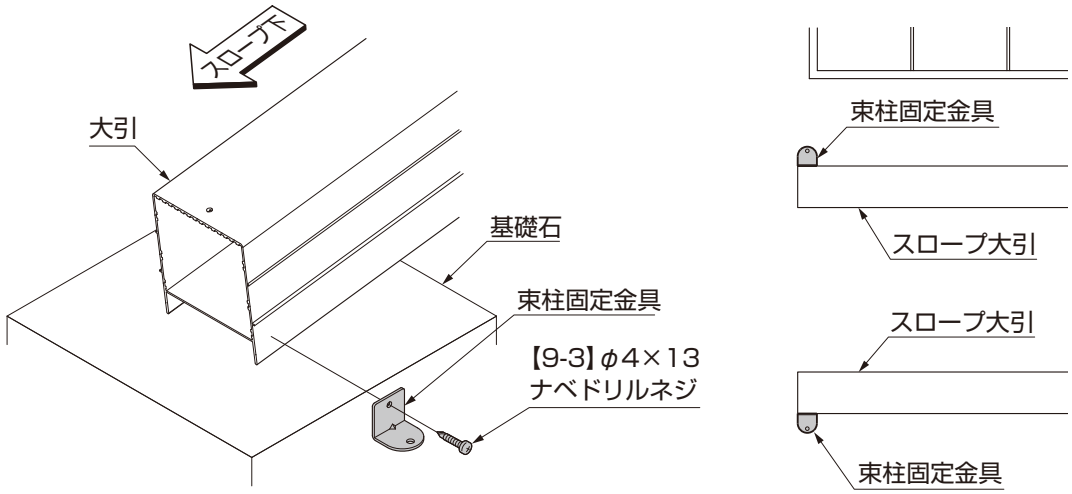
2-3 大引の仮置き



①床板を取付け始める側に、側面幕板B取付材を大引に【6-2】で固定してください。



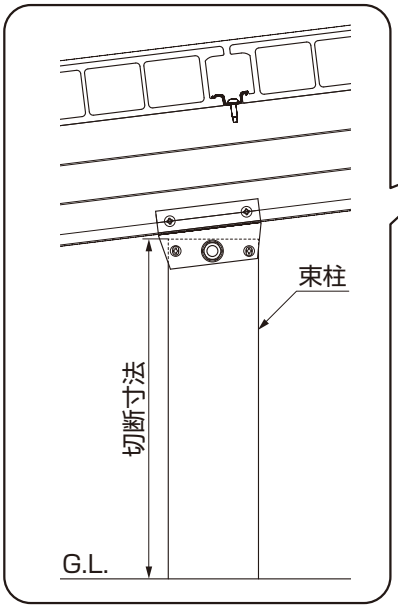
②大引を仮置きし、かいものなどで角度を調整してください。

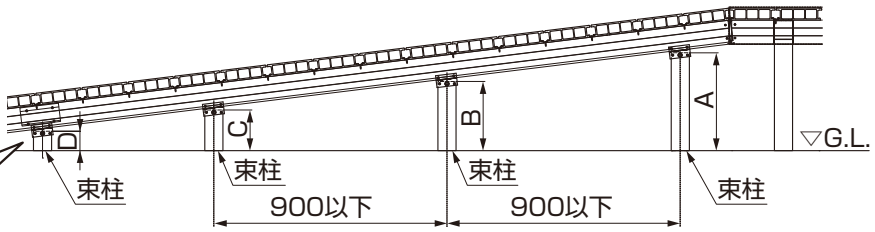


③大引先端部分に束柱固定金具を【9-3】で取付けてください。

E366_201607B

2-4 束柱の加工 ※図は束柱Aで説明しています。束柱Bを使用する場合は、樹ら楽ステージ 取付説明書〈E470〉または樹ら楽ステージ 木彫 取付説明書〈E423〉を参照してください。





①束柱の位置と長さを確認し、束柱を切断してください。

ポイント

- ●束柱の切断寸法は、「3 基本寸法と各部名称　3.基本寸法」を参照してください。
- ●束柱の切断寸法は現場に合わせて調整してください。
- ●束柱Aの最低切断寸法は49mmです。

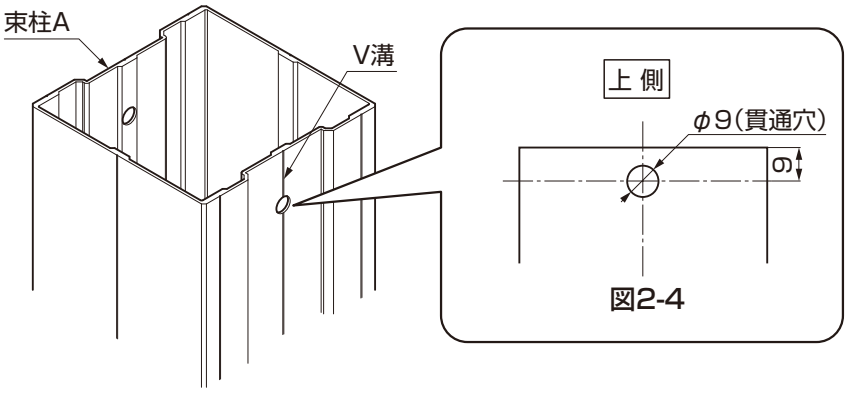
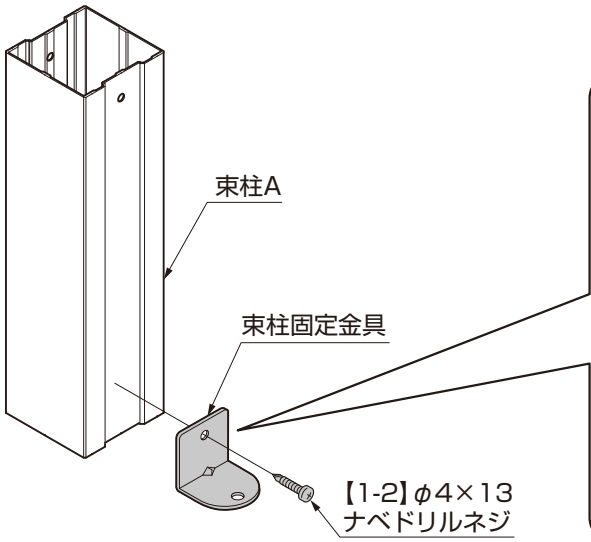


図2-4

②束柱にφ9の貫通穴を加工してください。(図2-4参照)

③束柱に、束柱固定金具を【1-2】で固定してください。



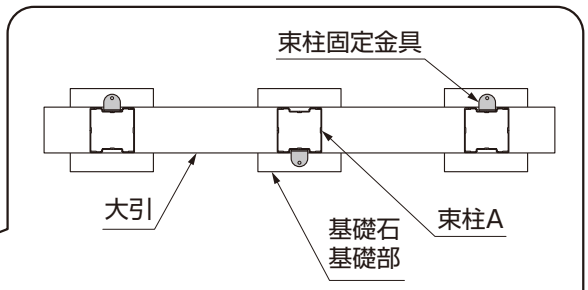


図2-5

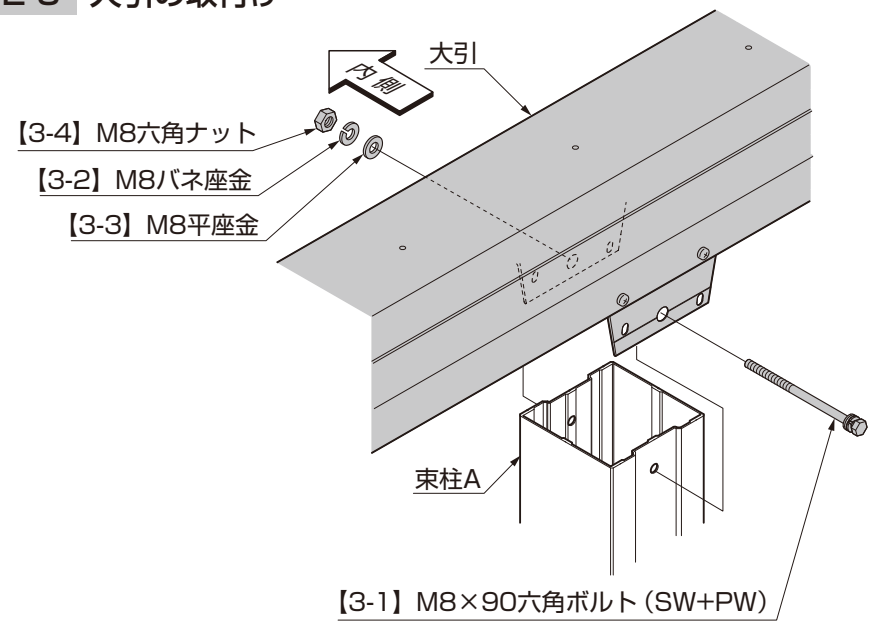
ポイント

- ●束柱固定金具は、それぞれの束柱に交互に取付けてください。(図2-5参照)

E366_202010D

2. 大引と束柱の取付け（つづき）

2-5 大引の取付け



①大引と束柱Aを【3-1】【3-2】【3-3】【3-4】で仮固定してください。

補足

●ナットが内側になるようにボルトを取付けてください。

2-6 束柱の固定

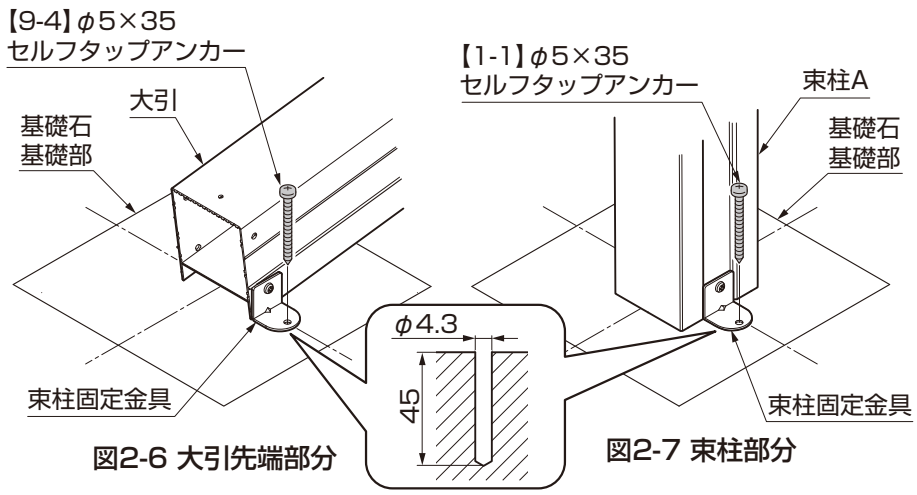
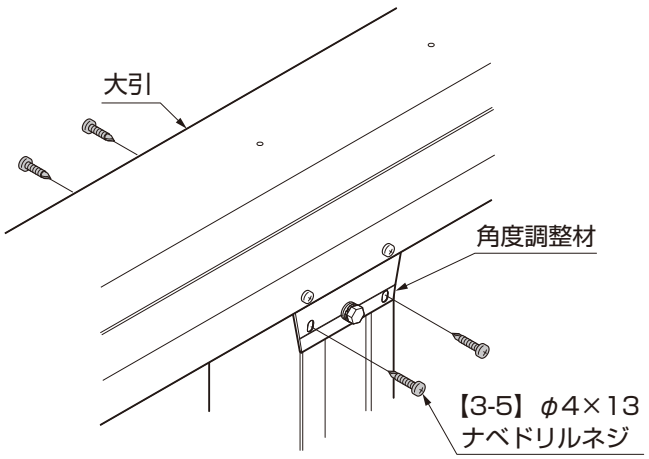


図2-6 大引先端部分　　図2-7 束柱部分

①基礎石または基礎部に、φ4.3深さ45mmの下穴をあけてください。
②大引先端部分の束柱固定金具を基礎石または基礎部に【9-4】で固定してください。
③束柱に固定してある束柱固定金具を基礎石または基礎部に【1-1】で固定してください。

ポイント

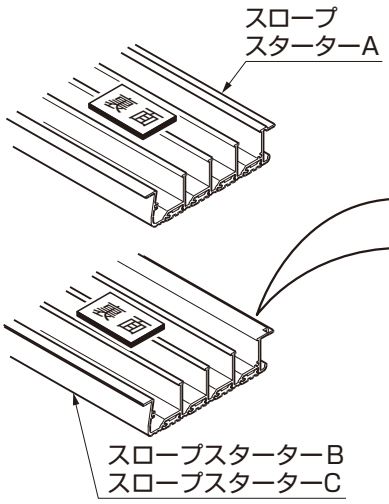
●束柱と基礎石の固定は、基礎部材の水平・直角等を確認後に行ってください。
●大引の間隔を再度確認してください。



④すべての角度が決まったら、角度調整材を束柱に【3-5】で取付け、固定してください。

3. スロープスターターの取付け

3-1 スロープスターターの加工



ポイント

●スロープスターターBには切欠きがあります。切欠き側がスロープ上側になります。

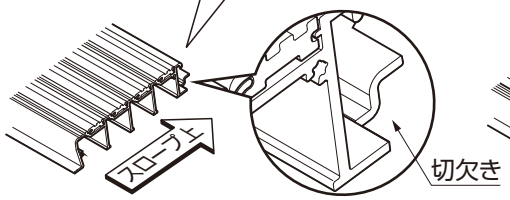


図3-1 スロープスターターBの場合（樹ら楽）

ポイント

●スロープスターターCには溝があります。溝がスロープ上側になります。

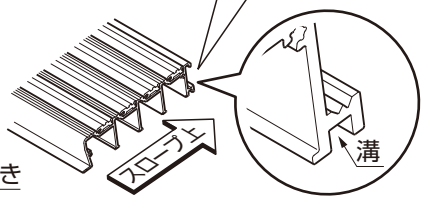


図3-2 スロープスターターCの場合（木彫）

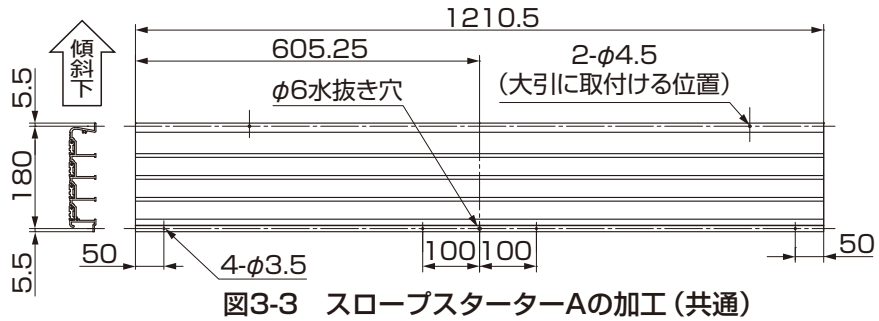


図3-3 スロープスターターAの加工（共通）

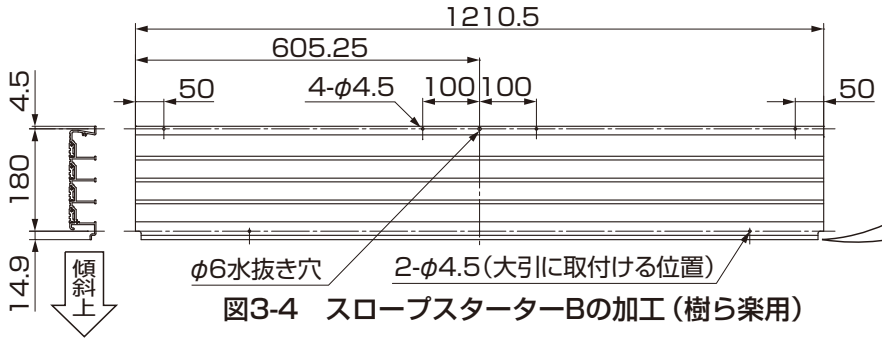
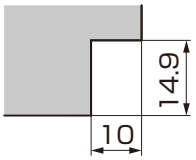


図3-4 スロープスターターBの加工（樹ら楽用）

ポイント



●スロープスターターBを切り詰めた場合は、両端部を切欠き加工してください。

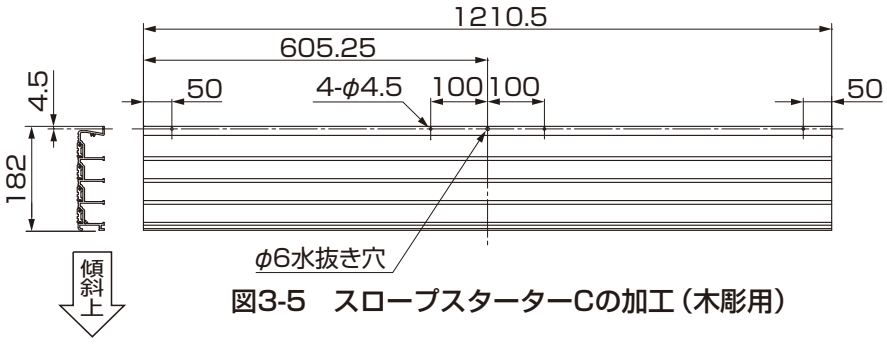


図3-5 スロープスターターCの加工（木彫用）

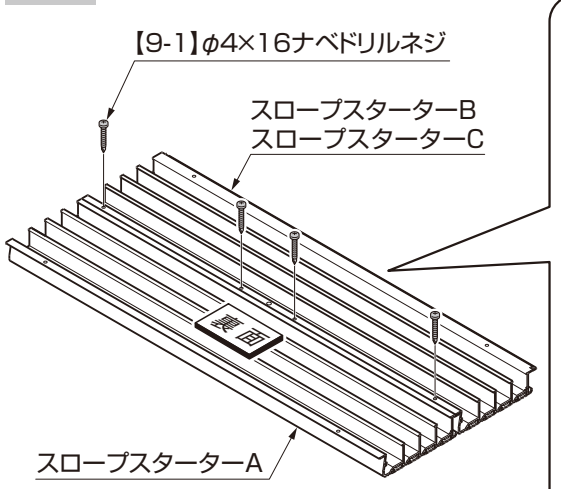
①スロープスターターに穴加工をしてください。（図3-3、図3-4、図3-5参照）

ポイント

●穴の加工位置は現場の状況に合わせて調整してください。
●スロープ幅は750mm以上が推奨です。

3. スロープスターターの取付け（つづき）

3-2 スロープスターターの組立て



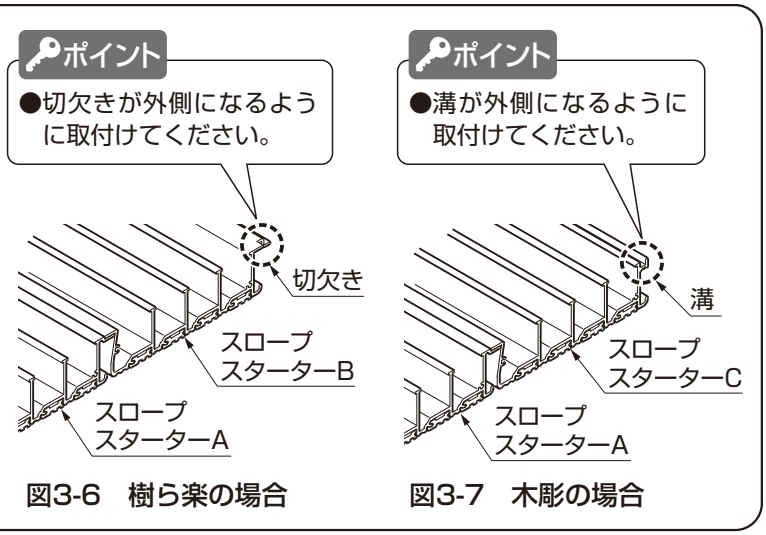
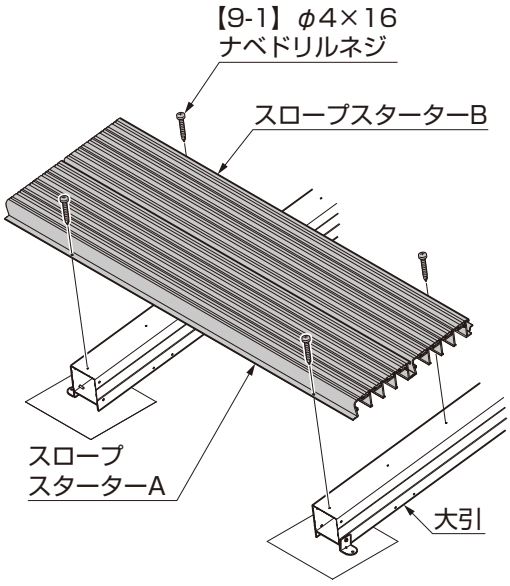
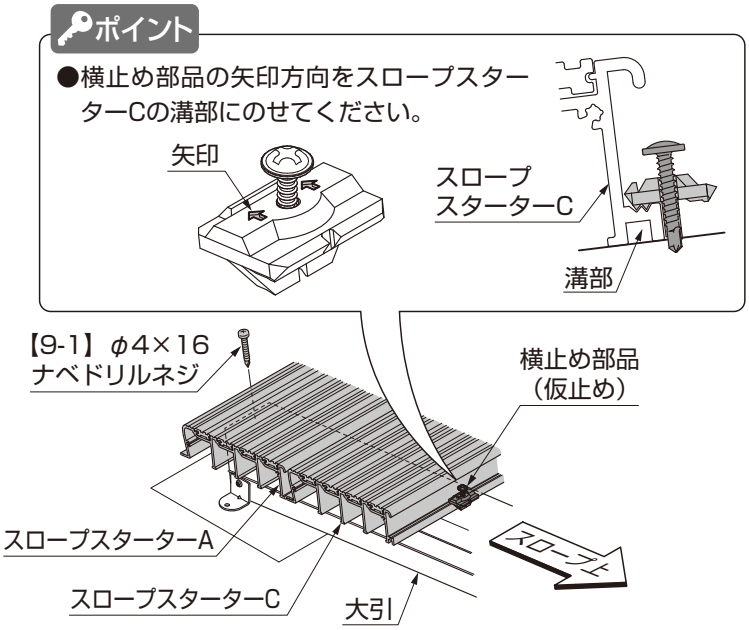


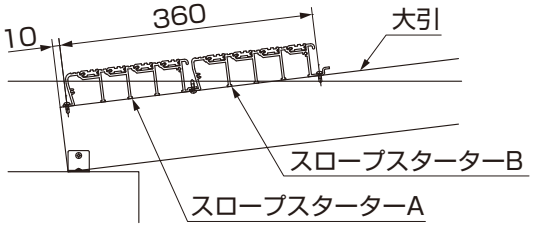
図3-6　樹ら楽の場合　　図3-7　木彫の場合

①スロープスターターAとスロープスターターBまたはスロープスターターCを重ね合わせ、【9-1】で固定してください。

3-3 スロープスターターの取付け







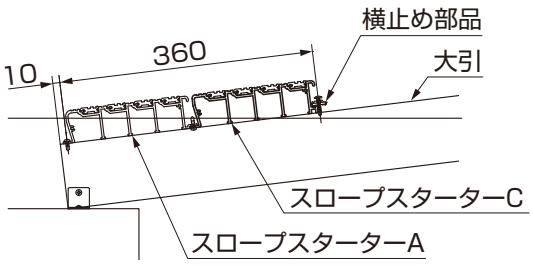


図3-8　樹ら楽の場合　　図3-9　木彫の場合

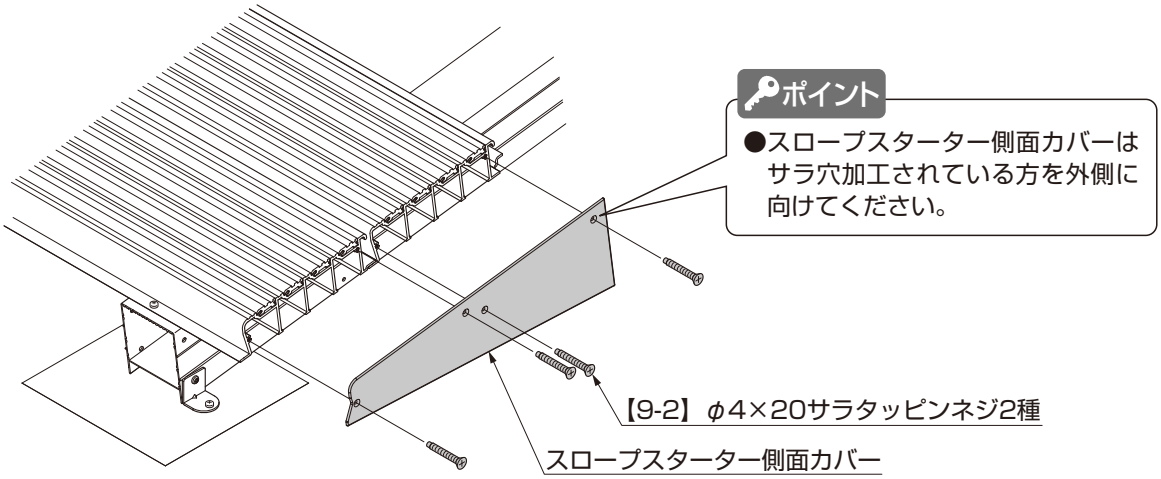
【樹ら楽の場合】

①スロープスターターを大引に【9-1】で取付けてください。

【木彫の場合】

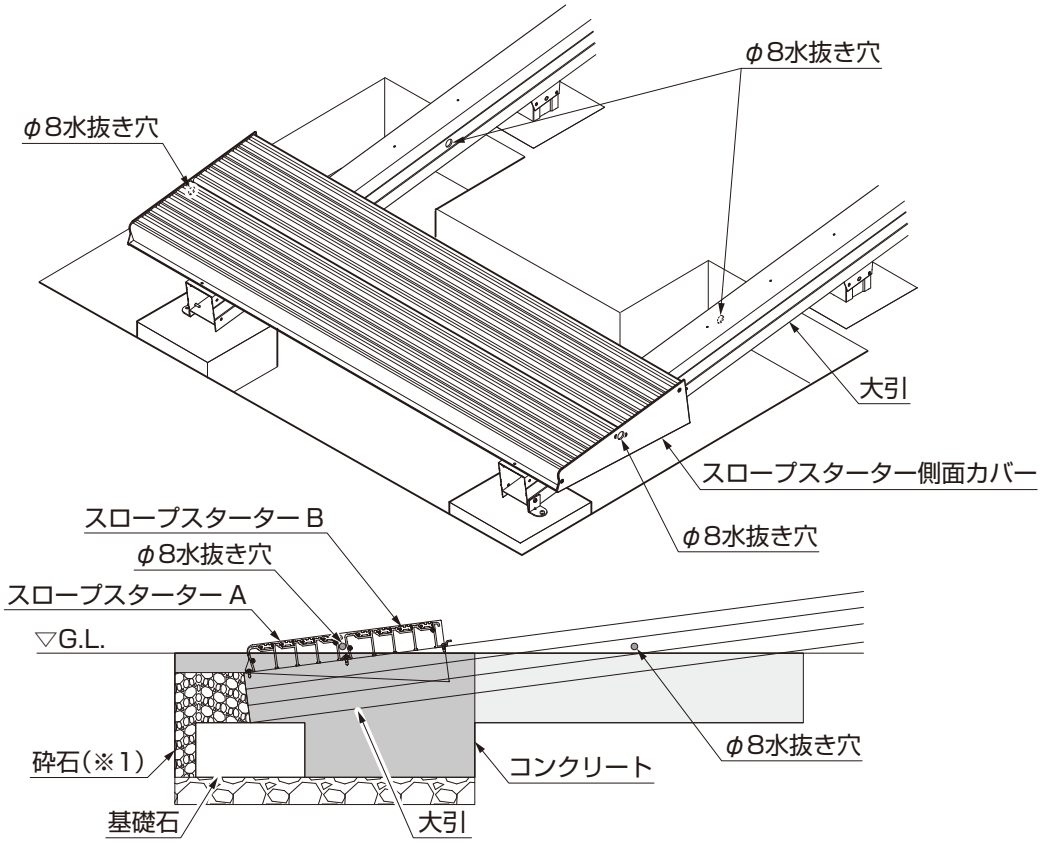
①スロープスターターを大引に【9-1】で取付けてください。
②横止め部品をスロープスターターCの溝部に乗せ、組込済のネジで下穴の位置に仮止めしてください。

3-4 スロープスターター側面カバーの取付け



①スロープスターター側面カバーをスロープスターターの両側面に【9-2】で取付けてください。

3-5 スロープスターターの埋込み



①スロープスターターをコンクリートで埋設してください。

ポイント

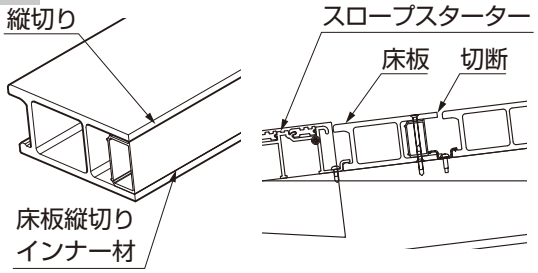
●大引前面部分を砕石で覆ってください。砕石で覆わないと、大引内に水が溜まり、冬期に凍結して大引を痛めるおそれがあります。(※1)

②コンクリート埋設範囲以外の穴を埋め戻してください。
③大引内側、スロープスターター側面カバーにφ8の水抜き穴をあけてください。

5　床板の施工方法

1. 床板取付上の確認事項

1-1　床板を縦切りする場合



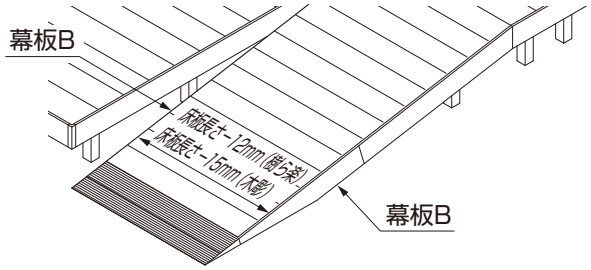
ポイント

●納まり上、床板の縦切りが部分的に必要な場合は、「床板縦切りインナー材」を使用してください。（「3.床板を縦切りする場合」参照）

補足

●床板を縦切りする場合、スロープスターターの隣の床板で調整してください。

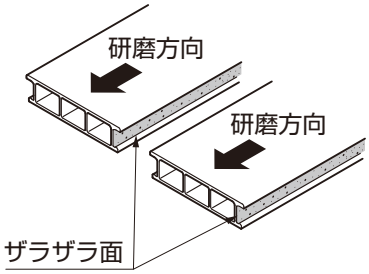
1-2　スロープ両側に幕板を取付ける場合



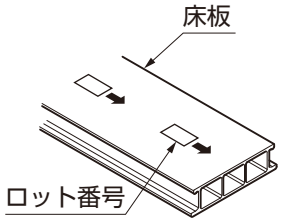
ポイント

●スロープの両側に幕板Bを取付ける場合は、下記にしたがい床板を切断してください。
・樹ら楽の場合：床板長さ－12mm
・木彫の場合：床板長さ－15mm
●スロープ側の床板と幕板を取付け後、本体側の施工を行なってください。

1-3　床板の研磨方向について（樹ら楽）



側面に加工がある場合

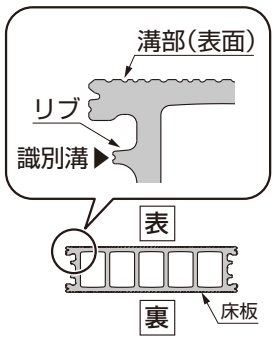


裏面にロット番号と矢印がある場合

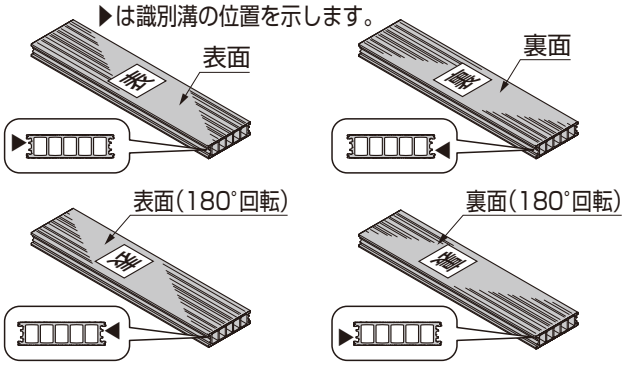
ポイント

●床板表面は研磨加工がされており、研磨方向によっては色が異なって見える場合があります。床板の加工方向を一定にしてから固定してください。
●床板には色によって側面の片側に加工がある場合と、裏面にロット番号と矢印が刻印されている場合があります。
ー側面に加工がある場合ー
表面がザラザラしている加工面の向きを合わせ、研磨方向を揃えてください。
ー裏面にロット番号と矢印がある場合ー
矢印の方向を揃えてから施工してください。

1-4　床板の組合せについて（木彫）



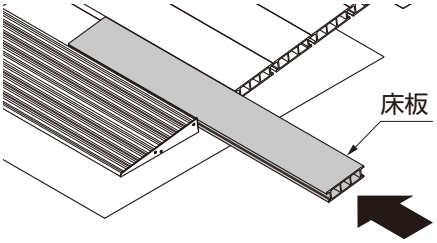
▶は識別溝の位置を示します。



ポイント

●床板の表面には不規則な溝があり、表裏・回転により4パターンの柄の組合せが可能です。
現場状況に合わせて床板を組合せて取付けてください。側面のリブには識別用の溝があります。

1-5　床板の納め方



ポイント

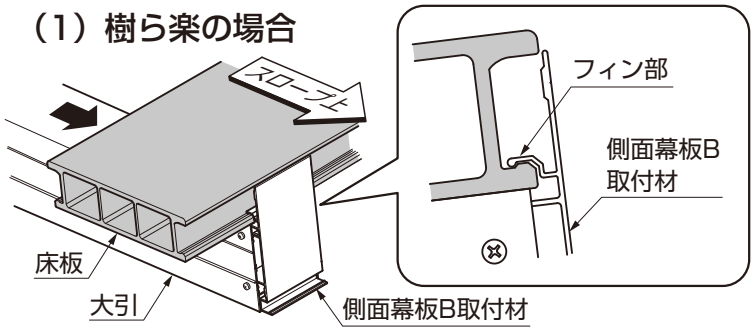
●最後の床板はスライドして取付けます。スライドして取り付けるスペースが無い場合は、床板を上止めにしてください。

E366_202010D

2. 床板の取付け ※図はスロープ側の床板の取付けを示します。

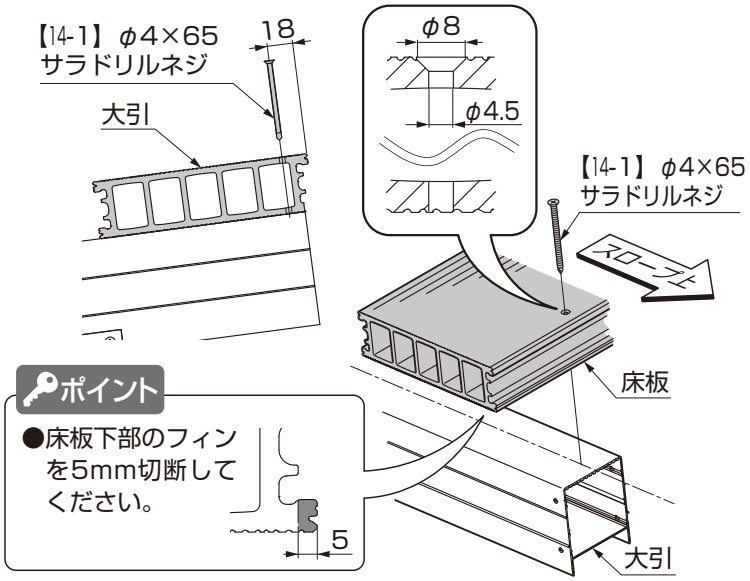
2-1 床板1枚目の固定

（1）樹ら楽の場合



①床板を大引の側面幕板B取付材に差し込んでください。

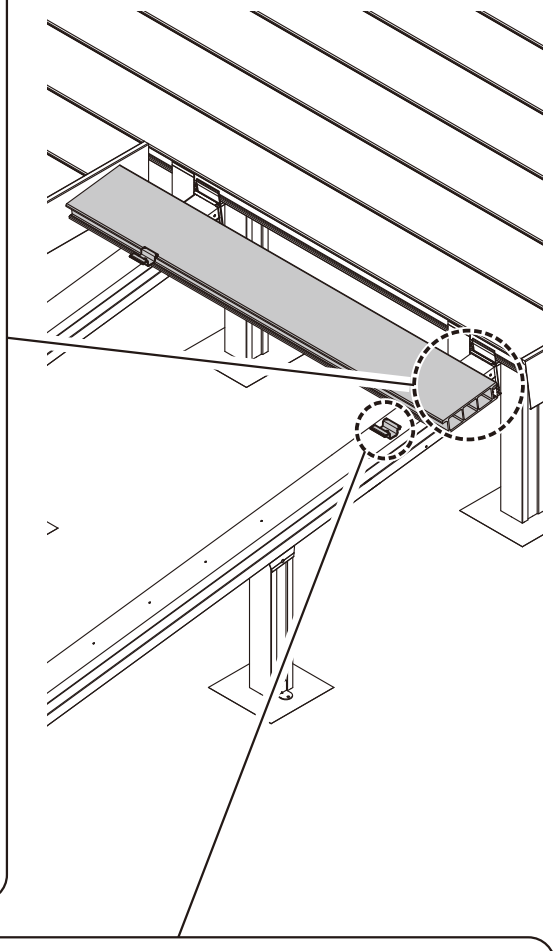
（2）木彫の場合



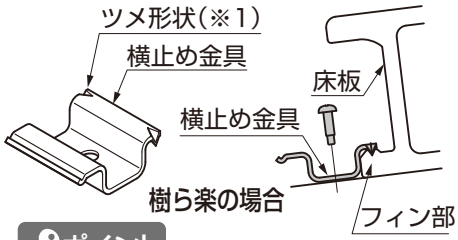
ポイント

●床板下部のフィンを5mm切断してください。

①床板上面にφ4.5の穴とφ8サラ取り加工をしてください。
②床板を大引に【14-1】で取付けてください。



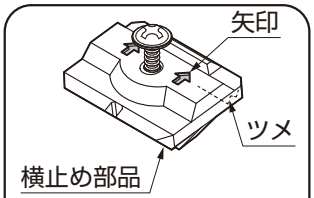
2-2 横止め金具の取付け ※木彫の場合は「樹ら楽ステージ 木彫 取付説明書〈E423〉」も参照してください。



樹ら楽の場合

ポイント

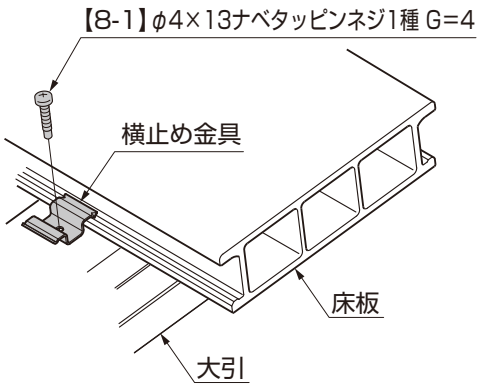
●ツメ形状(※1)のある側を、床板のフィン部に取付けてください。



木彫の場合

ポイント

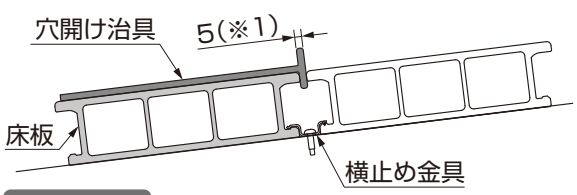
●矢印(ツメ)のある側を、床板に取付けてください。



①横止め金具を床板のフィン部に乗せて、【8-1】で下穴の位置に取付けてください。
②「2-3 床板2枚目以降、最後から2枚目までの固定」以降も、最後から3枚目まで同様に取付けてください。

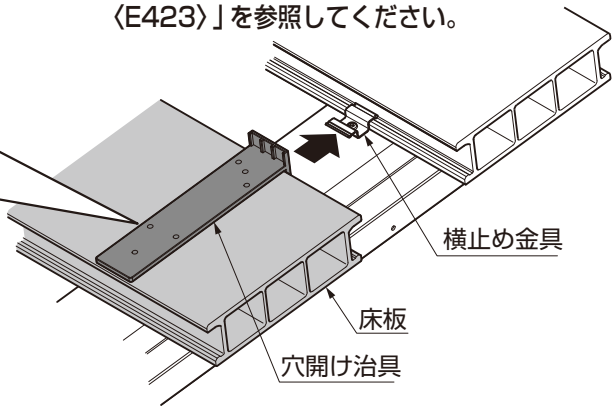
2. 床板の取付け（つづき）

2-3 床板２枚目以降、最後から2枚目までの固定 ※木彫の場合は「樹ら楽ステージ 木彫 取付説明書〈E423〉」を参照してください。

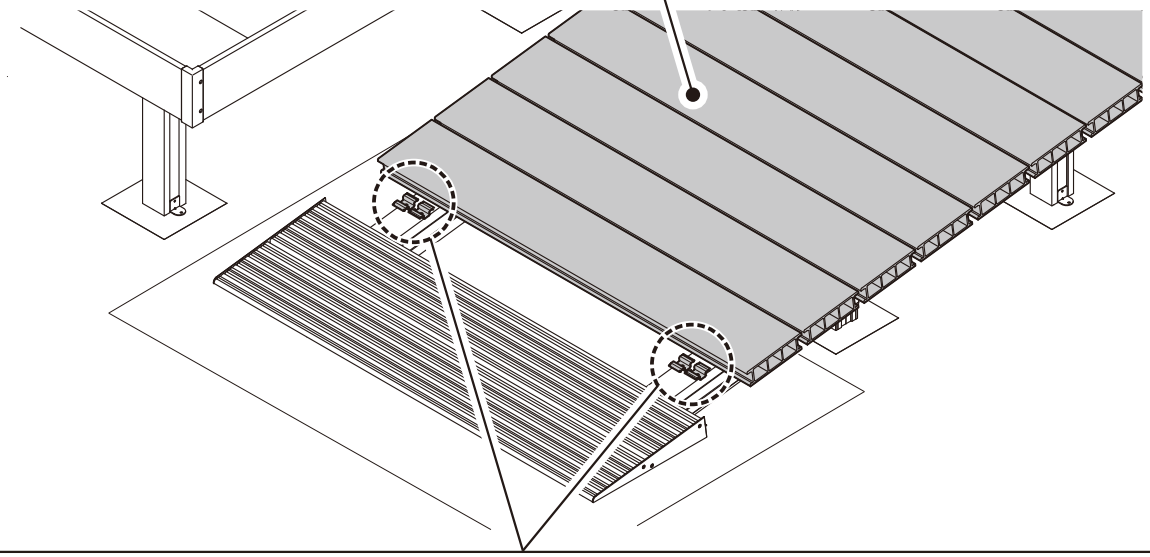


ポイント

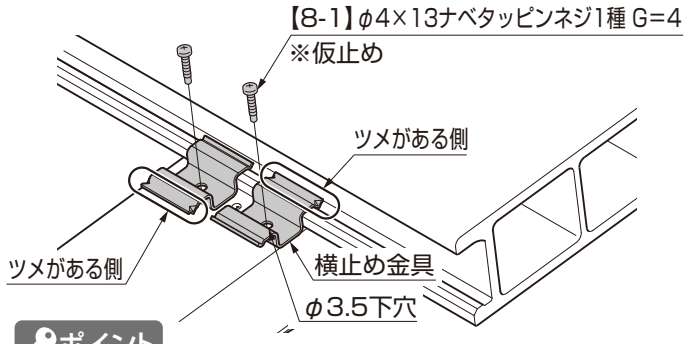
- ●床板のすき間は穴開け治具で確認できます。
- ●入りにくい時はゴムハンマーで軽くたたいて入れてください。



①床板同士のすき間が5mm（※1）になるように、床板を横止め金具に差し込んでください。

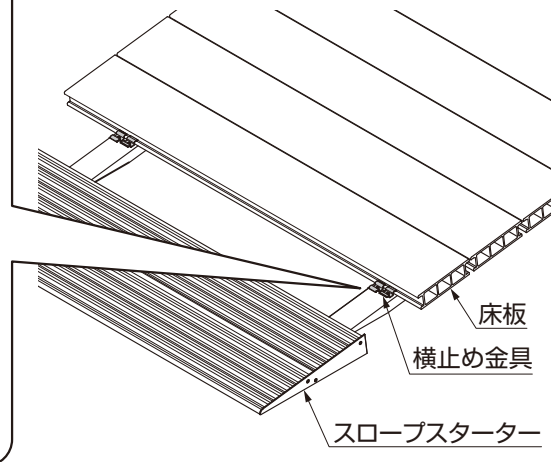


2-4 最後から2枚目の固定 ※木彫の場合も同様の施工となります。

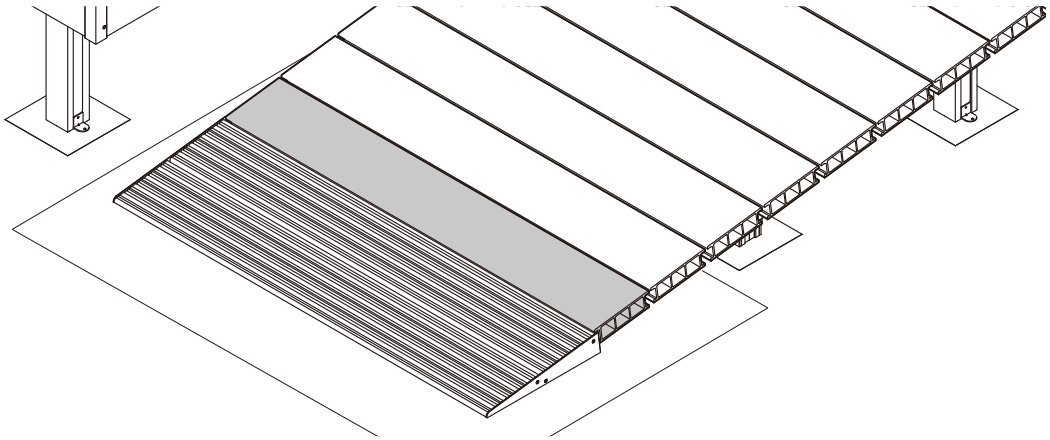


ポイント

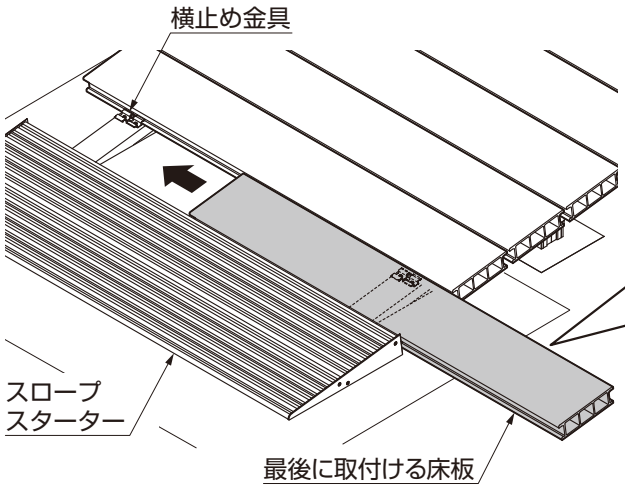
- ●横止め金具を向き違いにして2個ずつ仮止めしてください。
- ●横止め金具は仮止めにしてください。



①最後から２枚目の床板に、横止め金具を【8-1】で２個仮止めしてください。



2-5 最後の床板の取付け



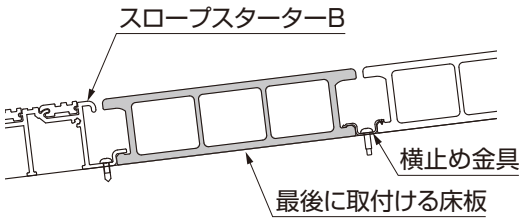


図2-1　樹ら楽の場合

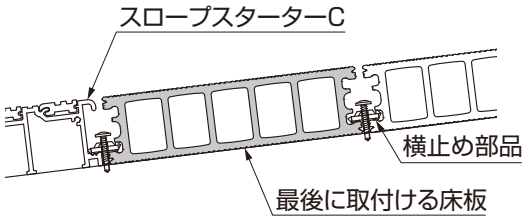
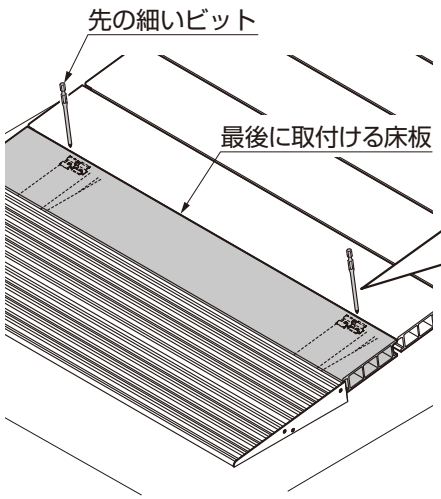


図2-2　木彫の場合



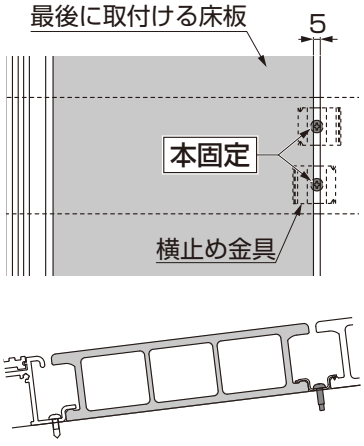


図2-3　樹ら楽の場合

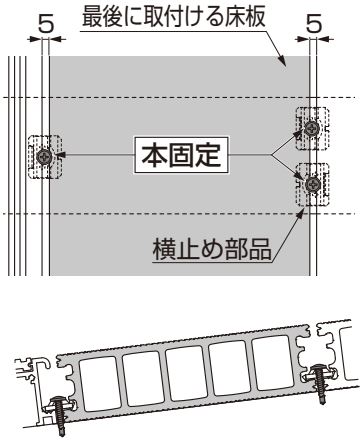


図2-4　木彫の場合

①最後の床板を、横からスライドして入れてください。
②先の細いビットで仮止めしていた横止め金具を本固定してください。

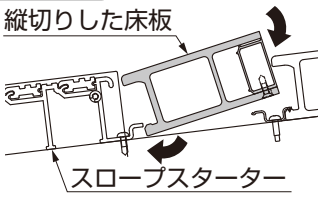
3. 床板を縦切りする場合 オプション

ポイント

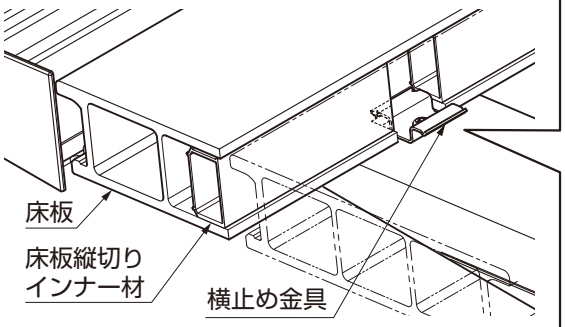
●床板の縦切りが必要になった場合には、必ずこの作業を行ってください。

補足

縦切りした床板



●スロープスターターに差し込むようにして取付けてください。



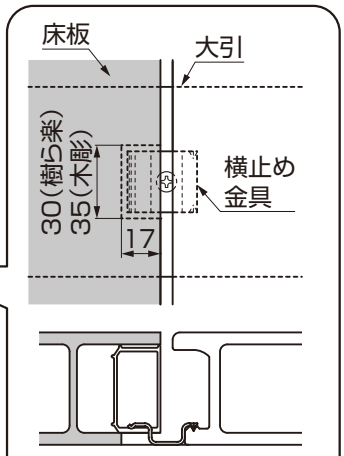


図3-1

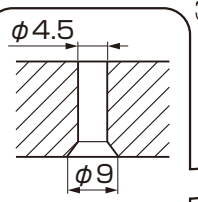


図3-3
床板裏面の穴あけ

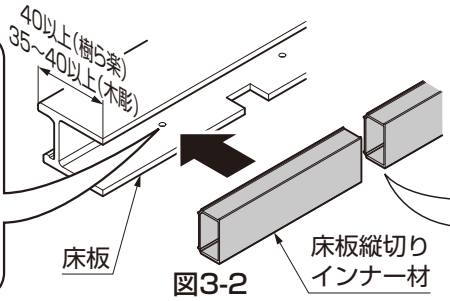


図3-2

補足

●横止め金具が干渉する部分は、横止め金具をよけてインナー材を切断してください。

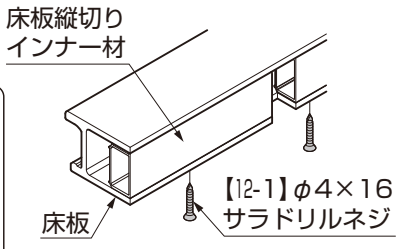
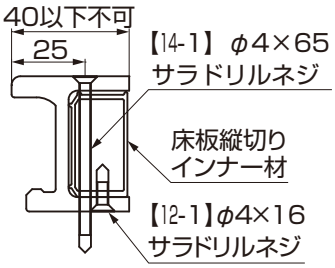
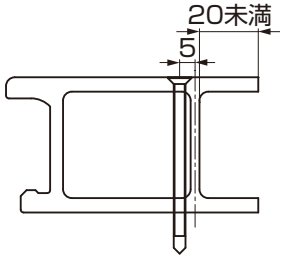


図3-4

ポイント

●縦切りした床板の幅は樹ら楽の場合は40mm以上、木彫の場合は35～40mm以上にしてください。
●リブからの持ち出しが20mm以上の場合にインナー材を使用してください。





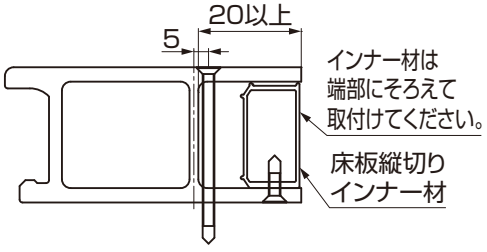
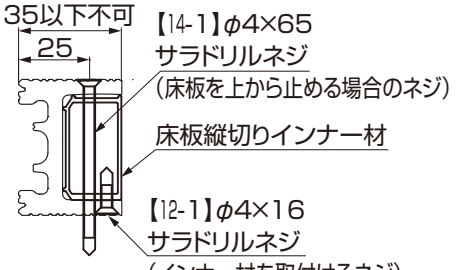
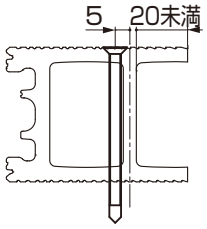


図3-4　樹ら楽の場合





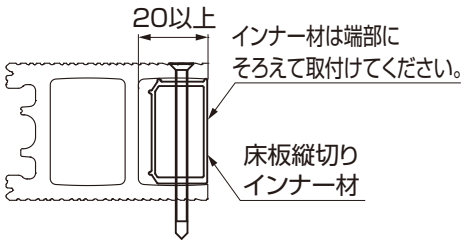


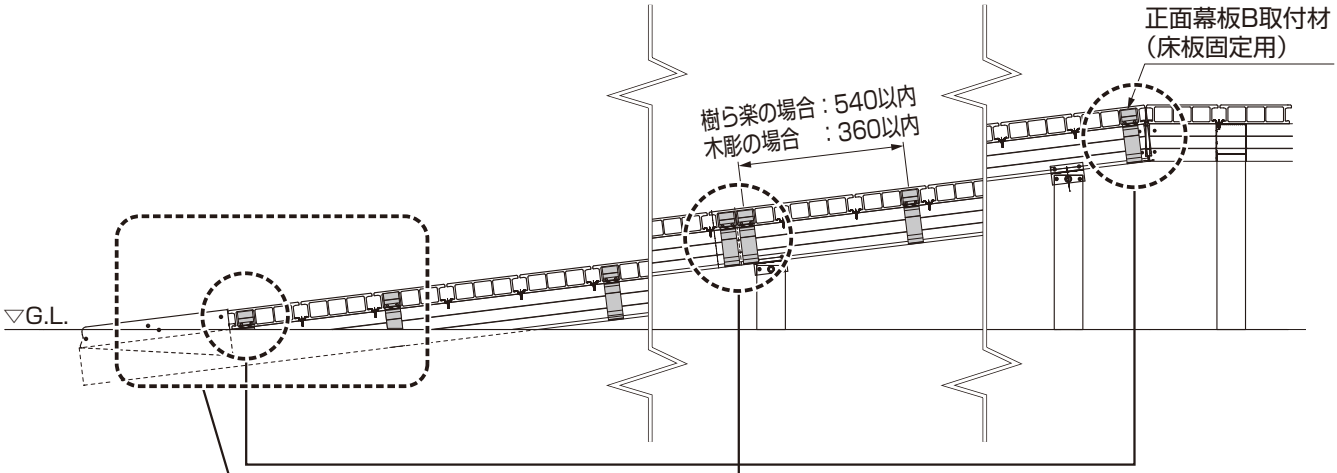
図3-5　木彫の場合

①床板を縦切りし、横止め金具が干渉する部分を切り欠いてください。(図3-1)
②床板縦切りインナー材を必要な長さに切断してください。(図3-2)
③床板の床板縦切りインナー材を固定する位置にφ4.5下穴とφ9サラ取りをしてください。(図3-3)
④床板縦切りインナー材を【12-1】で固定してください。(図3-4)
⑤床板を【14-1】で大引に取付けてください。(図3-4、図3-5参照)

6　幕板Bの施工方法

1. 正面幕板B取付材（床板固定用）の取付け

※木彫の場合は「樹ら楽ステージ 木彫 取付説明書〈E423〉」も併せてご覧ください。



ポイント

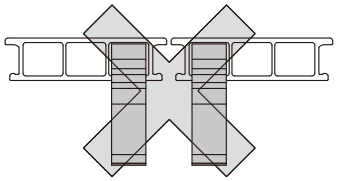


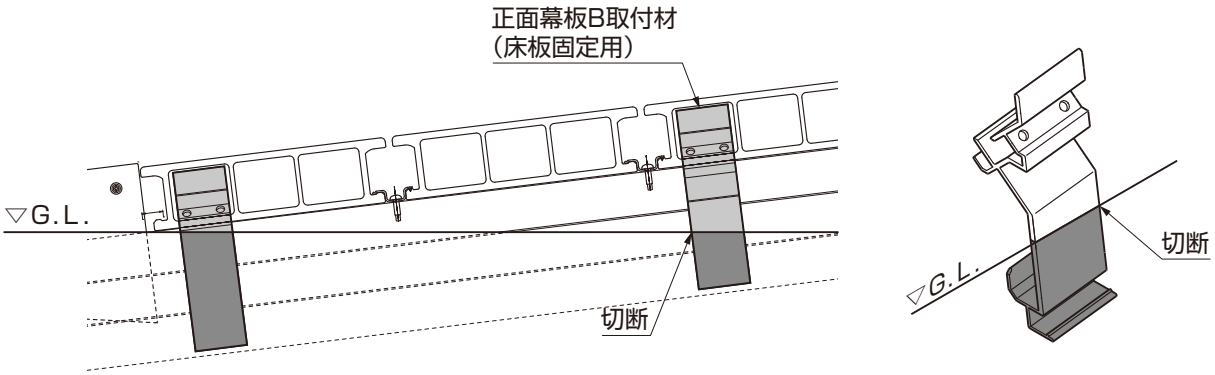
図1-1

●正面幕板B取付材（床板固定用）は、始まりと終わり、および幕板接続部には必ず取付けてください。

●連結部の正面幕板B取付材は、1枚の床板に2個取付けてください。2枚にまたがないでください。（図1-1）

ポイント

●幕板Bを斜めカットする範囲は、正面幕板B取付材（床板固定用）をG.L.より上で切断加工してください。



①正面幕板B取付材（床板固定用）を取付ける位置を確認してください。

ポイント

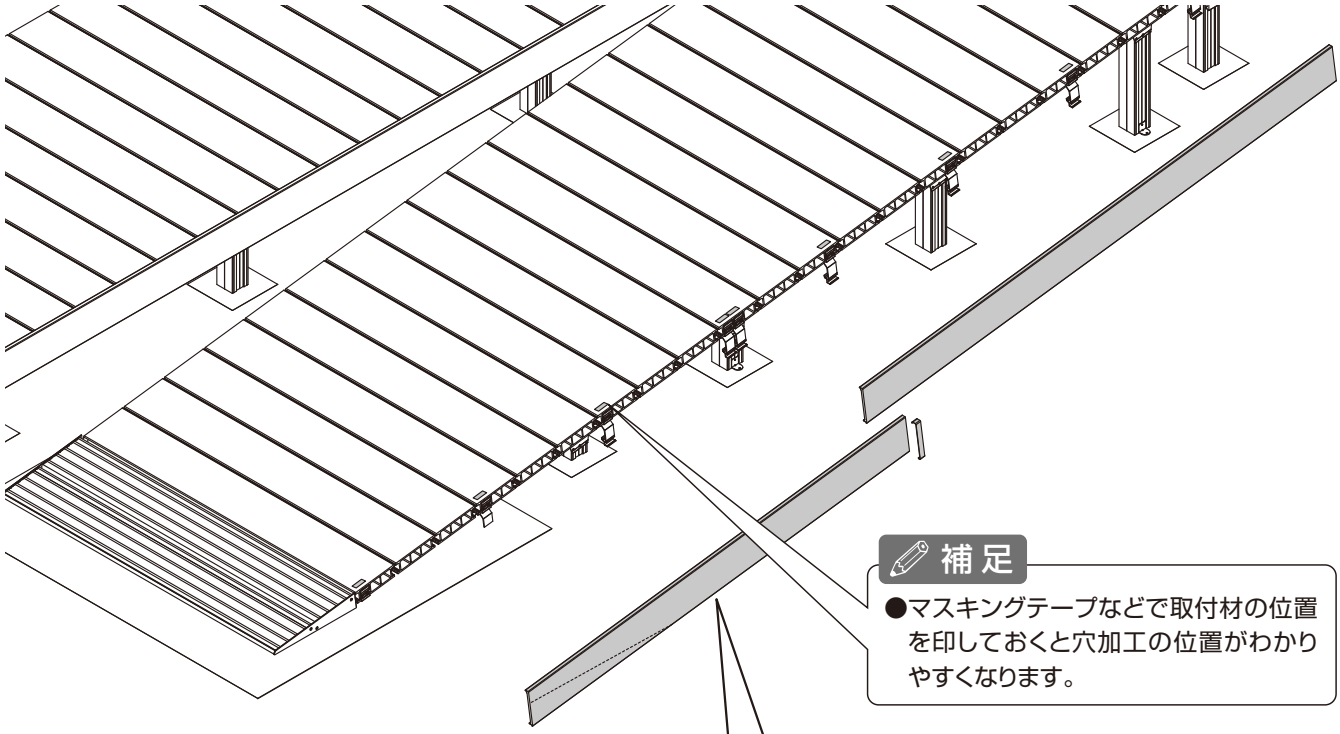
●正面幕板B取付材（床板固定用）の取付けピッチは540mm以内にしてください。（樹ら楽の場合）

●正面幕板取付材（床板固定用）の取付けピッチは360mm以内にしてください。（木彫の場合）

②樹ら楽ステージ取付説明書〈E470〉を参照して、正面幕板B取付材（床板固定用）を取付けてください。

2. 幕板Bの加工と取付け

※図は樹ら楽ステージを示します。
樹ら楽ステージ 木彫の場合も同様の施工となります。



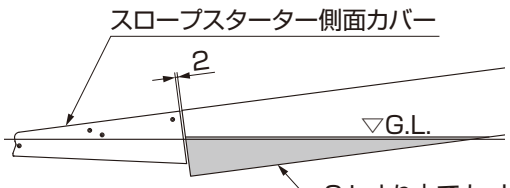
補足

●マスキングテープなどで取付材の位置を印しておくと穴加工の位置がわかりやすくなります。

2-1 幕板Bの切断加工

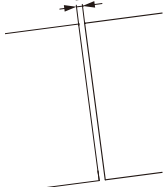
ポイント

●幕板Bとスロープスターター側面カバーは2mm程度すき間をあけて切断してください。



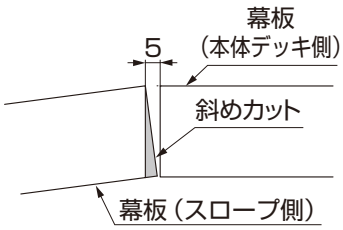
ポイント

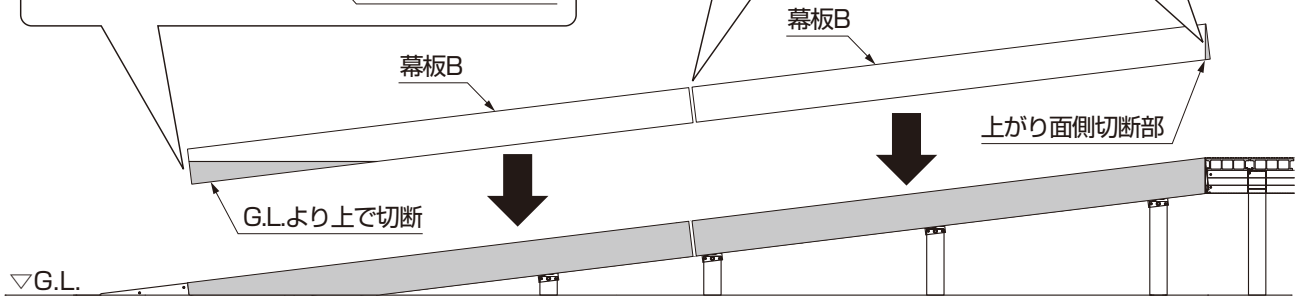
●幕板連結部は、7mmあけて切断してください。



ポイント

●本体デッキの幕板と5mm程度すき間をあけてスロープ側の幕板を切断してください。





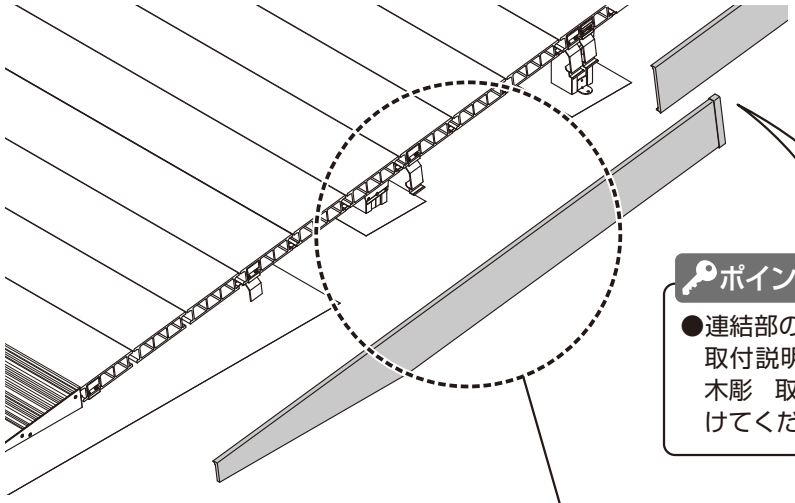
①幕板BをG.L.より上で切断加工してください。

ポイント

●幕板Bは埋設しないでください。吸水により、クラックが入るおそれがあります。

②上がり面側の幕板B端部を角度に合わせて切断加工してください。

E366_202010D



ポイント

●連結部の取付けについては、「樹ら楽ステージ 取付説明書〈E470〉または樹ら楽ステージ 木彫　取付説明書〈E423〉」を参照して取付けてください。

2-2 幕板Bの穴加工

ポイント

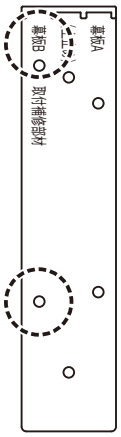


図2-1　穴開け治具

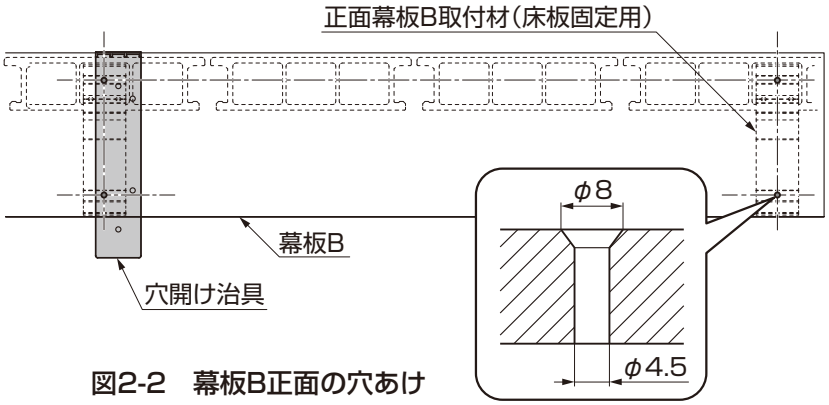


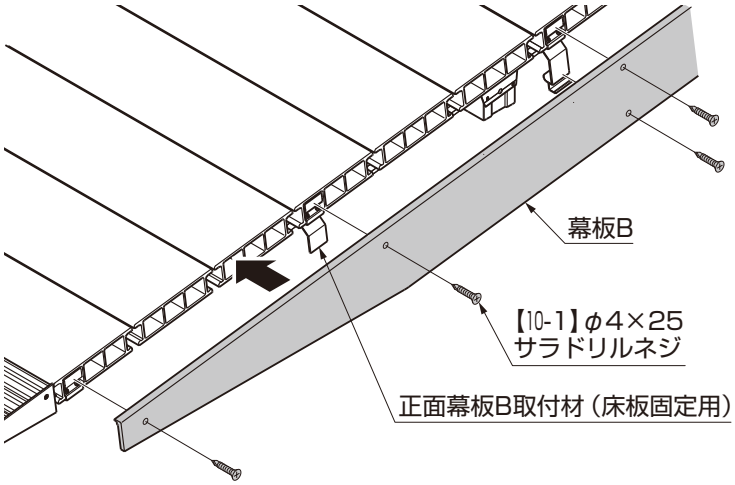
図2-2　幕板B正面の穴あけ

①幕板Bに穴開け治具を使用して、正面幕板B取付材(床板固定用)が付いている部分に、φ4.5の穴加工とφ8サラ取りをしてください。(図2-2参照)

ポイント

●穴開け治具の○印の穴を使用してください。(図2-1参照)

2-3 幕板Bの取付け



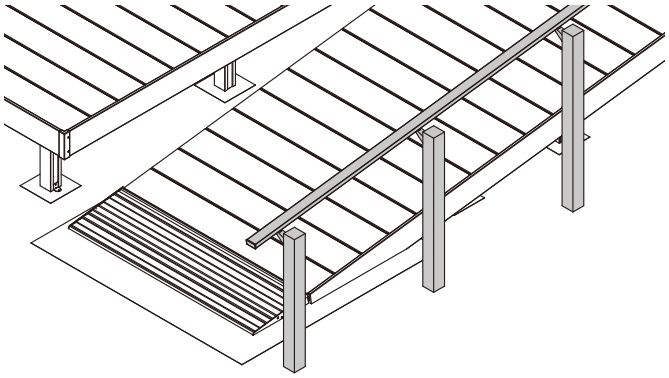
①幕板Bを、正面幕板B取付材 (床板固定用) に【10-1】で固定してください。

ポイント

●幕板Bは、上下2ヶ所の取付けになります。
●幕板Bを取付ける際は、施工後の反りを防ぐため幕板中心部で固定してから、両端部方向へ固定していくようにしてください。

7　手すりの施工と補修

1. 手すりの施工

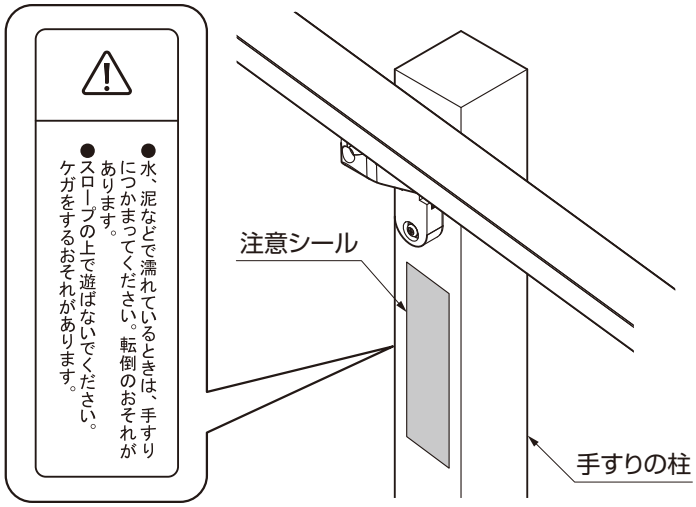


①各手すりの取付説明書を参照して、手すりを施工してください。

補 足

●アーキレールを使用する場合は、「デザイナーズパーツ柱材 70×70」に、アーキレールの「壁付けブラケット」を取付けて施工してください。詳しい施工方法はそれぞれの取付説明書を参照してください。

2. 注意シールの貼付け

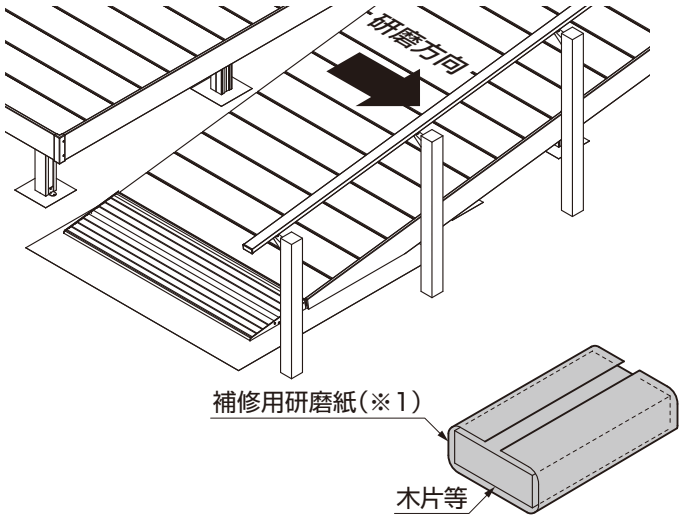


①注意シールを、手すりの柱正面または側面の目立つ位置に貼り付けてください。

ポイント

●注意シールは、施主様に安全に使用していただくために必要です。

3. 施工後の補修



①施工後、表面に付いたすりキズは図の研磨方向に補修用研磨紙で仕上げてください。

ポイント

●強くこすりすぎないでください。下地が出てしまうおそれがあります。
●1ヶ所を集中的に擦るのではなく、全体をぼかすようにして磨いてください。
●平らな部材を研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。（※1）

補 足

●市販の研磨紙を使用する場合は、80番の研磨紙を使用してください。

取説コード
E366

JZZ626103C
201305A__1041
202010D__1049